

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する 243

情報の確認や設定をする243

確認、設定できる種別について243

ETC 情報を確認する.....244

ETC とは244

案内表示について244

エンジンスイッチを ON にしたとき244

現在地画面の表示について244

料金所を通過したとき244

予告アンテナを通過したとき244

ETC の履歴を確認する245

ETC 車載器の情報を表示する245

ETC カードの有効期限を表示する245

ETC2.0 サービス246

ETC2.0 サービスの概要246

ETC2.0 サービスについて246

音声情報246

ITS スポット246

アップリンク機能246

安全運転支援情報247

渋滞回避支援247

記念距離メモリーを確認する248

表示内容について248

記念距離メモリーを表示する249

記念距離メモリーの記録を消去する249

記念距離メモリーを設定する249

緊急サポートを表示する250

本機の情報を確認する251

その他の機能を使う 252

電話を使う252

電話画面を表示する252

携帯電話を接続する252

電話帳や履歴を同期する253

よくかける電話番号を登録する254

番号入力で登録する254

電話帳から登録する255

履歴から登録する255

よくかける電話番号を編集する255

名称や電話番号を編集する255

消去する256

電話をかける256

電話帳からかける257

よくかける電話番号からかける257

履歴からかける258

施設に登録された電話番号にかける258

電話がかかってくると259

かかってきた電話にでは259

音量を調整する259

ダイヤルトーンを入力する260

通話画面を閉じる260

電話を終了する260

フロントカメラ /

コーナカメラを使う261

表示内容について261

カメラアイコンについて261

カメラ映像を表示する262

コーナカメラのビューを切り換える262

ガイドラインの表示を切り換える262

リアカメラを使う263

表示内容について263

リアカメラの映像を表示する264

リアカメラのビューを切り換える264

ガイドラインの表示を切り換える264

マルチビューカメラを使う265

表示するには265

フロントカメラ映像を表示する265

リアカメラ映像を表示する265

Honda スマートパーキング

アシストシステム265

リアカメラ de あんしんプラスを使う266

後退出庫サポート266

後方死角サポート267

車線キープサポート267

後方死角サポート/車線キープ	
サポートのアイコンについて	267
後退出庫サポートについて	268
後方死角サポートについて	268
車線キープサポートについて	268
リアカメラdeあんしんプラス	
(ダブルビュー機能付き)を使う	269
後退駐車サポート	269
パーキングセンサーを使う	270
表示内容について	270
カメラ映像以外のとき	270
カメラ映像(リアカメラなど)のとき	270
障害物を検知したときの動作	271
カメラについて	272
カメラのガイドライン表示について	272
後席会話サポート機能を使う	273
後席会話サポートを開始する	273
後席会話サポートを停止する	273
ドライブレコーダーを使う	274
録画の種類について	274
常時録画	274
手動録画	274
駐車時録画	274
駐車時録画プラス	274
ドライブレコーダーアイコンの種類	275
手動録画する	275
静止画を撮影する	275
録画した動画/静止画を確認する	275
録画ファイルリストについて	276
録画データの再生画面について	277
録画データを消去する	278
各リストのファイルをすべて消去する	278
ファイルを1件消去する	278
保存フォルダへ移動する	278
現在の映像を確認する	278
ドライブレコーダーを設定する	279
SDカードをフォーマットする	279
SDカードを取り出す	279
リア席モニターを使う(デジタル接続モデル)	280
専用赤外線リモコンについて	280
リア席モニターに表示できる映像	281

インターナビ機能	282
インターナビとは	282
インターナビをご利用になる前に	284
操作の流れ	284
データ通信について	285
リンクアップフリー	285
インターナビ・データ通信USB	285
本機をセットアップする	286
internavi画面を表示する	287
表示内容について	288
Hondaからのお知らせを確認する	289
履歴を確認する	289
インターナビ交通情報を確認する	290
表示内容について	290
渋滞情報の表示	290
防災情報の表示	291
手動で情報を取得する	291
internavi ウェザーを確認する	292
画面表示について	292
手動で情報を取得する	293
マルチインフォメーション	
ディスプレイの天気表示	293
インターナビ情報を確認する	294
internavi 情報サービスを表示する	294
登録した情報をパーソナル・	
ホームページと同期する	294
パーソナル・ホームページと	
スマートフォンアプリについて	294
インターナビ・プレミアムクラブの方	294
Honda Total Care 会員の方	295
My コースのルートを設定する	295
目的地クリップを利用する	296
カーカルテを確認する	296
駐車場セレクトを使う	297
駐車場セレクトを設定する	297
緊急時の連絡先を表示する	298
販売店の連絡先を表示する	298
緊急サポートを表示する	298
地図データ更新サービスについて	299
無償地図更新サービス	299
有償地図更新サービス	299
地図更新サービスに関するご注意	299

本機の設定	300	internaviの設定	327
設定を変更する	300	設定画面の表示	327
設定できる種別について	300	internavi ウェザーを設定する	329
NAVI 設定	301	internavi ダイレクトをカスタマイズする	329
設定できる項目について	301	internavi の設定を初期化する	330
表示の設定	302	情報取得の設定をする	330
音声の設定	304	フレーム No を確認する	330
探索の設定	305	総走行距離を設定する	331
VICS の設定	307	システム設定	332
自車位置の補正	308	設定できる項目について	332
センサー学習情報を消去する	308	案内音・操作音の設定	333
現在地を補正する	309	音声認識の設定	333
AV 設定	310	学習データをリセットする	334
設定できる項目について	310	セキュリティの設定	335
音質の設定を変更する (Sound Settings)	311	ハードキー動作の設定	336
イコライザー設定	313	ステアリングリモコン動作の設定	336
ジャンルを選ぶ	313	メモリ初期化	338
イコライザーを調整する	313	時計の設定	339
音楽 CD の録音方法を変更する	314	リアカメラの設定	340
自動録音について	314	リアカメラの次回表示ビューを設定する	341
手動録音について	314	ガイドラインを表示する	341
シングル録音について	314	フロント・コーナーカメラの設定	342
DVD ビデオの初期設定	315	ガイドラインを表示する	343
視聴制限のレベルを設定する	316	マルチビューカメラの設定	344
優先させる言語を変更する	317	パーキングセンサーの設定	345
情報設定	319	Apple CarPlay 連携機能設定	345
設定できる項目について	319	ドライブレコーダーの設定	346
電話の設定	320	設定できる項目について	347
ETC の設定	321	TV の設定	348
ETC2.0 の設定	322	設定項目について	348
internavi / 通信設定	323	視聴設定	349
Bluetooth の設定	323	字幕 / 音声	349
設定画面の表示	324	受信機設定	349
接続可能な Bluetooth 機器を		自動選局	349
検索して登録する	324	緊急放送	350
Bluetooth 機器から		表示設定	350
検索して登録する	325	番組表 CH	350
Bluetooth 機器を選択する	326	初期設定を行う	351
Bluetooth 機器を消去する	326	CH スキャンを行う	351
パスキーを設定する	327	アンテナモードを変更する	351
本機のアドレスを		設定情報を初期化する	351
表示する / 編集する	327		

その他の設定	352
画質を調整する.....	352
RGB 画面の調整.....	352
映像画面の調整	352
画面の表示を消す	353

各種情報を確認する

情報の確認や設定をする

VICS や ETC など各種情報の確認や設定ができます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 確認、設定したい“情報”に
タップする



情報の確認、設定画面を表示します。

確認、設定できる種別について

VICS 情報	VICS 情報の確認ができます。 →「VICS 機能」(P117)
本体情報	本機の名バージョンを確認できます。→「本機の情報を確認する」(P251)
ETC 情報	ETC の履歴や ETC 車載器の情報を確認できます。 →「ETC 情報を確認する」(P244)
ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの録画データの確認や消去などができます。 →「ドライブレコーダーを使う」(P274)
NaviCon 友達マップ	友達マップの ON/OFF や友達マップの全体表示ができます。 →「友達マップを表示する」(P92)
緊急サポート	緊急サポートの連絡先や現在地のマップコードを確認できます。 →「緊急サポートを表示する」(P250)

ETC 情報を確認する

ETC の使いかたについて説明します。

ETC とは

ETC とは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

本機に別売の ETC 車載器または ETC2.0 車載器を取り付けることで本機能をご利用になります。

- 有料道路などの料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETC の通行履歴を表示できます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の ETC 車載器または ETC2.0 車載器と ETC カードが必要です。
- ETC カード未挿入や ETC 車載器または ETC2.0 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETC ゲート、ETC カード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC 車載器または ETC2.0 車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETC カードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ **エンジンスイッチを ON にしたとき**
エンジンスイッチを ON にすると、ETC カードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETC の設定] の「カード入れ忘れ警告」で案内する / しないを選ぶことができます。
- 「音声案内」を [しない] に設定した場合でも、「カード入れ忘れ警告」を [する] に設定したときは案内を行います。
→「情報設定」(P319)

■ 現在地画面の表示について

「カード挿入アイコン表示」を [する] に設定すると、現在地画面 (P46) に ETC カードの状態を表示します。→「情報設定」(P319)

	カード挿入
	カード未挿入
	カードの有効期限切れ、 カードエラー、車載器エラー

■ 料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声で料金案内を行います。



■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。

予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

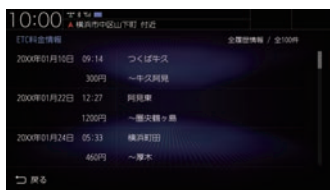
お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、- 99,999円～999,999円まで表示できます。

- MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 情報** → **ETC情報** にタップする
- 利用履歴** にタップする



全履歴情報画面を表示します。

ETC車載器の情報を表示する

本機に接続されているETC車載器またはETC2.0車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認できます。

- MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 情報** → **ETC情報** にタップする
- 車載器情報** にタップする



登録情報を表示します。

ETCカードの有効期限を表示する

ETCカードの有効期限を確認できます。

- MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 情報** → **ETC情報** にタップする
- カード情報** にタップする



ETCカードの有効期限を表示します。

ETC2.0 サービス

別売のETC2.0車載器を本機に接続すると、さまざまな機能をご利用になります。

ETC2.0 サービスの概要

専用狭域(きょういき)通信方式を用いて情報提供や料金決済などができるサービスのことです。

今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売のETC2.0車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売のETC2.0車載器とETCカードが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、ETC2.0車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC2.0車載器本体の詳細については、ETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC2.0 サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ETC2.0サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス(道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など)には対応しておりません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→「**音声情報**」(P118)

受信した音声情報を自動で読み上げないようにする場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0音声自動再生」を[しない]に設定します。

→「**情報設定**」(P319)

■ ITS スポット

全国的高速道路(走行路面上やサービスエリア)などに設置されているITSスポットと無線通信をして道路サービス情報などを利用できます。主なサービスとして、安全運転支援情報、渋滞回避支援情報、災害時支援情報が利用できます。

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立ちます。

走行情報を提供しない場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0アップリンク」を[送信しない]に設定します。

→「**情報設定**」(P319)

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。
表示方法は「安全運転支援情報を見る」
(P124)をご覧ください。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報



合流支援情報



事故多発地点情報



■ 渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに提供します。また、前方の渋滞状況の確認もできます。

記念距離メモリーを確認する

車の走行距離が所定の距離（例：7777km、10000kmなど）に達した場合に、そのときの日時／場所を自動記録します。

さらに、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を接続している場合は、ドライブレコーダーの映像を静止画で自動記録します。

お知らせ

- 車両の装備やグレードが記念距離メモリーに対応している必要があります。
- 10km、5km、1km手前および記念距離メモリーに設定された距離に到達したときには、「およそ10kmで記念距離目盛1000kmです」などの音声とテロップ表示でお知らせします。

表示内容について

記念距離メモリー画面



記念距離メモリー画面

(別売のドライブレコーダーに映像記録がある場合)



① 記録場所※1

記録時の場所を地図で示します。

② 記録情報※1

記録時の総走行距離／日時／位置情報／走行速度を表示します。

③ 画面保存※2

画面を画像ファイルにして本機のSDカードに保存します。

④ 記録映像

ドライブレコーダー映像の静止画を表示します。画面をタップすると全画面表示になります。

⑤ ◀、▶ ※3

前後の静止画に切り換えます。

※1 位置情報や走行速度は記録できない場合があります。その場合は表示されません。ドライブレコーダーの映像記録があり位置情報の記録が無い場合は、映像の全画面表示になります。

※2 SDカードを本機に挿入しておく必要があります。画像ファイルはSDカードのRootフォルダーにビットマップ形式で保存されます。

※3 ドライブレコーダー映像の記録は、所定の総走行距離に達したときに約10秒おきに6枚記録します。

お知らせ

- 保存した画像ファイルは個人で楽しむ目的以外（商用利用や事故時の証拠資料など）に使用しないでください。
- 本機の起動中に所定の総走行距離に達しても、日時／位置／速度が正常に記録されない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーが録画停止中（本機でドライブレコーダーの設定や再生、記念距離メモリーを表示中など）に所定の総走行距離に達した場合、映像の記録はできません。また、映像記録の途中で車のエンジンスイッチを変更した場合など、映像の記録ができない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーに入っている静止画の容量がいっぱいになると、撮影できなくなります。不要な静止画は削除してください。
詳細については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）の取扱説明書をご覧ください。

記念距離メモリーを表示する

記念距離メモリーがある場合、記録時の地図や情報を表示することができます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 表示したい記録を選択し、
詳細 にタップする

記念距離メモリー画面を表示します。

お知らせ

- [記念距離メモリー表示] にタップするとドライブレコーダーの録画が一時停止します。[現在地] キーなどを押して記念距離メモリー画面を終了すると、録画を再開します。

記録する記念距離一覧

1000km	5555km	11111km	60000km
1111km	6000km	12345km	66666km
1234km	6666km	20000km	70000km
2000km	7000km	22222km	77777km
2222km	7777km	30000km	80000km
3000km	8000km	33333km	88888km
3333km	8888km	40000km	90000km
4000km	9000km	44444km	99999km
4444km	9999km	50000km	100000km
5000km	10000km	55555km	123456km

記念距離メモリーの記録を消去する

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 消去したい記録を選択し、
消去 にタップする

記念距離メモリーを削除します。

アドバイス

- [全消去] にタップするとリストにあるすべての記念距離メモリーを消去します。

記念距離メモリーを設定する

記念距離メモリーの利用やお知らせの設定ができます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 **設定** にタップする
- 4 各項目の **する** または **しない**
にタップする

記念距離メモリー	記念距離メモリーによる自動記録をするかしないかの設定ができます。
間もなくお知らせ	車の総走行距離が自動記録を行う所定の距離に近づいたときに、お知らせをするかしないかを設定できます。

記念距離メモリーの設定が完了します。

緊急サポートを表示する

不意のトラブルにあったときなど緊急サポートに電話をかけて必要な処置や手配を頼むことができます。

お知らせ

- ・ インターナビ利用中は、現在地画面の [internavi] から緊急サポートをご利用ください。
→「緊急サポートを表示する」(P298)

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → 情報 にタップする

3 緊急サポート にタップする



緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

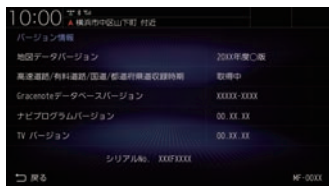
アドバイス

- ・ 表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。
- ・ 緊急サポートへ連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。

本機の情報を確認する

本機の各バージョンを確認できます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** に
タップする
- 3 **本体情報** にタップする



本機のバージョン情報画面を表示します。

その他の機能を使う

電話を使う

ハンズフリー電話の使いかたについて説明します。

警告



禁止

- 運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。
走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- 携帯電話を放置しない。
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。
事故の原因となることがあります。
[電話の設定]の「〇〇音量」で適度な音量に設定し、ご使用ください。
→「情報設定」(P319)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

お知らせ

- ハンズフリー電話を使用するときの通話料はお客さまのご負担となります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

電話画面を表示する

電話帳や発信履歴を利用して電話をかけることができる電話画面を表示します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。

- 2 **電話** にタップする



電話画面を表示します。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用し
て接続します。

- 1 電話画面を表示する (→P252)
携帯電話を接続していないときは、電話番号入力画面を表示します。

- 2 **接続設定** にタップする

以降、接続のしかたについては「Bluetooth 機器を選択する」(P326)をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- ご利用の携帯電話の取扱説明書に従って操作してください。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。

電話帳や履歴を同期する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話の電話帳や履歴の同期設定を行います。

お知らせ

- 携帯電話の機種によって同期が正常に行われない場合があります。PBAPに対応していない携帯電話は、電話帳との同期できません。
- 同期する際に、携帯電話側で同期の確認画面が表示される場合や設定が必要な場合があります。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 電話帳や履歴の同期が完了するまで2分程度かかることがあります。
- 電話帳は最大2000件、発信/着信/不在着信はそれぞれ最大20件まで同期することが可能です。ただし、携帯電話の登録件数および性能によって変化します。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 電話帳 または 発着信履歴 にタップする

PBAP非対応の携帯電話は、[発着信履歴]にタップしてください。

電話帳画面または発着信履歴画面を表示します。

3 タイプ別の操作を行う

PBAP対応の場合



[同期する]にタップしてください。

PBAP非対応の場合



[表示する]にタップしてください。

この画面で[同期しない]または[表示しない]になっている場合は、すでに同期(表示)されているので本操作は必要ありません。
[同期しない]または[表示しない]にタップすると、同期(表示)しない設定に変更されます。



同期が開始され、Bluetoothで接続されている携帯電話の電話帳または履歴を本機に表示します。

アドバイス

- 同期後、携帯電話の電話帳を編集しても、リアルタイムに本機側へ反映されません。携帯電話の情報を最新にするには、[同期しない]→[同期する]にタップして、再度読み込んでください。
- PBAP非対応の携帯電話を本機へ接続したとき、履歴は本機と接続中に発着信したものをだけを表示します。

よくかける電話番号を登録する

リストによくかける電話番号をまとめておくことができます。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 「登録番号」にタップする

登録番号画面を表示します。

3 いずれかの「未登録」にタップする



「未登録」以外の名称にタップすると、電話をかける操作となります。



登録方法の選択画面を表示します。

アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）は接続した携帯電話に紐づいて登録します。別の携帯電話を接続した場合は、その携帯電話で登録した登録番号が表示されます。
- 登録番号（よくかける電話番号）は最大20件まで登録できます。

■ 番号入力で登録する

名称や電話番号を直接入力して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P254) で、

「直接情報を入力」にタップする

登録番号の登録画面を表示します。

2 「名称」のボタンにタップする



3 登録したい“名称”を入力/編集し、

「入力完了」にタップする

4 「電話番号」のボタンにタップする

5 登録したい“電話番号”を入力/編集し、

「決定」にタップする



6 **「決定」**にタップする

登録が完了し、元の画面に戻ります。

■ 電話帳から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P254) で、

電話帳から登録 にタップする

電話帳画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。

以降の操作は、「番号入力で登録する」(P254)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

■ 履歴から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の発着信履歴を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P254) で、

発着信履歴から登録 にタップする

発着信履歴画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。

以降の操作は、「番号入力で登録する」(P254)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

よくかける電話番号を編集する

登録済みの登録番号を編集、消去することができます。

アドバイス

- [MENU] キー→[設定/情報]→[情報設定]→[登録番号の編集]にタップしても編集、消去ができます。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 **登録番号** にタップする

登録番号画面を表示します。

3 **編集・消去** にタップする



登録情報を編集する画面を表示します。

■ 名称や電話番号を編集する

登録済みの名称や電話番号を編集します。

1 登録情報を編集する画面

(P255)を表示する

2 編集したい“リスト”にタップする

すでに情報が登録されているリストにタップすると、登録番号の登録画面が表示されます。「番号入力で登録する」(P254)の手順2以降と同様に操作し、編集してください。

「未登録」のリストにタップすると、新しく登録する操作となり、登録方法の選択画面を表示します。

「よくかける電話番号を登録する」(P254)と同様に操作してください。

■ 消去する

登録済みの情報を消去します。

1 登録情報を編集する画面 (P255) を表示する

2 消去したいリストの“チェックボックス”をタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録情報を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 [消去] にタップする

4 再度、[消去する] にタップする



▼
選択したリストの消去が完了します。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 [番号入力] にタップする

3 “電話番号” を入力する



オフフックアイコン

アドバイス

- [*+] または [#P] にロングタップ (P26) すると、[+] または [P] を入力できます。
- 誤入力した場合は、◀ または ▶ で位置を選び、<X> にタップして消去します。
- 電話 (Android スマートフォン) に複数の通話アプリが存在する場合、電話側に確認画面が表示されますので、使用するアプリを選択してください。
一定時間選択されない場合、Bluetooth 接続が解除されます。
- [リダイヤル] にタップすると、前回かけた電話番号に電話をかけることができます。

4 “オフフックアイコン” にタップする

▼
電話がかかります。

■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 「電話帳」にタップする

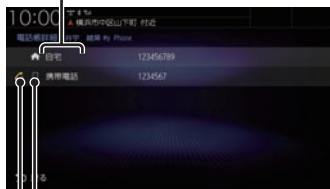
3 かけたい“相手”にタップする



電話帳詳細画面を表示します。

4 かけたい“番号”にタップする

カテゴリ名



カテゴリアイコン

登録電話番号アイコン

電話がかかります。

■ よくかける電話番号からかける

登録番号を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する (→P252)

2 「登録番号」にタップする

3 かけたい“相手”にタップする



電話がかかります。

アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）に登録した電話番号が、電話帳にある場合、発信確認画面に表示される名称は、電話帳に登録されている名称が表示されます。



履歴からかける

発信・着信履歴および不在着信を使用して電話をかけることができます。

お知らせ

- ・ 非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- ・ 本機で記憶している着信・発信履歴を使用します。

アドバイス

- ・ 発信・着信・不在着信の履歴は、各項目最大20件ずつです。

1 発信履歴 にタップする

2 かけたい“履歴”にタップする



すべて	すべての履歴をリスト表示します。
発信履歴	発信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (で表示されたリスト)
着信履歴	着信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (で表示されたリスト)
不在着信	不在着信の履歴で絞り込まれたリストを表示します。 (で表示されたリスト)

電話がかかります。

施設に登録された電話番号にかける

検索した施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

お知らせ

- ・ 検索した施設などに電話番号の情報がなければ電話をかけることはできません。

1 電話をかけたい“場所”を探す

→「場所を探す」(P78)

2 詳細情報 にタップする



3 電話をかける にタップする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音になり、着信中の画面が表示されます。

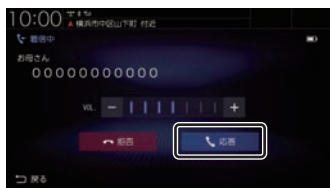


お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

■ かかってきた電話にでは

1 [応答] にタップする



通話できます。

アドバイス

- 運転中など、通話できない状況では[拒否]にタップすることで通話を拒否できます。

■ 音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

1 [−] または [+] にタップし調整する



受話音量を調整します。

アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量、送話音量は[電話の設定]の「〇〇音量」であらかじめ設定できます。→「情報設定」(P319)
- 本機に接続している携帯電話および通話相手の電話機によって、受話音量、送話音量に差が生じる場合があります。
- [ミュート]にタップすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにし、遮断することができます。
- [電話転送]にタップすると、Bluetooth接続されている携帯電話で直接通話することができます。本機のハンズフリー機能に戻す場合は、[ハンズフリー転送]にタップします。

■ ダイヤルトーンを入力する

通話中にダイヤルトーンを入力できます。音声ガイダンスなどの番号入力時に使用します。

1 **トーン** にタップする

2 入力したい“番号”、“記号”を入力する

[0]～[9]、[*]、[#]が入力できます。



ダイヤルトーンの入力(送信)が完了します。

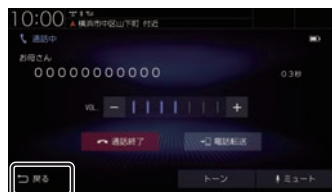
アドバイス

- ・ 走行中はダイヤルトーンの入力はできません。

■ 通話画面を閉じる

通話画面を閉じて元の画面に戻ります。

1 **戻る** にタップする



元の画面に戻ります。

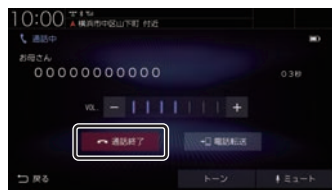
アドバイス

- ・ 再度通話画面を表示したい場合は、 にタップします。または、目的地メニュー (P29) から[電話]にタップしてください。

■ 電話を終了する

通話を終了します。

1 **通話終了** にタップする



通話が終了します。

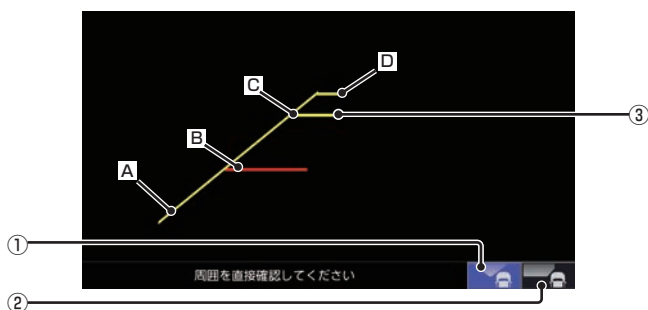
フロントカメラ/コーナーカメラを使う

別売の各カメラが接続されている場合、ディスプレイに各カメラ映像を表示できます。

お知らせ

- 各カメラについて詳しくは、別売のフロントカメラ/コーナーカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 各カメラ映像は低速走行時に切り換えることができます。
→「フロント・コーナーカメラの設定」(P342)

表示内容について



① ノーマルビューに切り換えます。



② トップダウンビューに切り換えます。トップダウンビューはコーナーカメラ(2ビュー対応)接続時のみ表示可能です。

③ ガイドライン(目安線)

車両の幅や距離の目安となる線です。

[A]: 車両左側から約 25cm の目安

[B]: フロントバンパーから約 0.5m の目安

[C]: フロントバンパーから約 1.0m の目安

[D]: フロントバンパーから約 1.5m の目安

お知らせ

- ガイドラインは表示する / 表示しないを設定できます。
→「ガイドラインの表示を切り換える」(P262)
- フロントカメラ映像ではガイドラインを表示しません。

■ カメラアイコンについて

現在地画面(P46)にアイコンを表示することができます。→「フロント・コーナーカメラの設定」(P342)

「フロントカメラ自動表示」または「コーナーカメラ自動表示」の設定によって、表示色が異なります。

 (白色)	自動表示する
 (灰色)	自動表示しない

カメラ映像を表示する

フロントカメラ/コーナーカメラを接続すると **🔍** キー（オプションボタン）にカメラ切換機能が設定されます。

1 **🔍** キーを押す

カメラ映像に切り換わります。再度、**🔍** キーを押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 高速走行時に **🔍** キーを押した場合、低速走行になってからカメラ映像に切り換わります。ただし、低速になる前に再度、**🔍** キーを押した場合は、カメラ映像の切り換えがキャンセルされます。

アドバイス

- 🔍** キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P34) で設定できます。

コーナーカメラのビューを切り換える

2ビュー対応のコーナーカメラを接続している場合に、ノーマルビュー、トップダウンビューを切り換えます。

1 切り換えたい“ビュー”に タップする



選んだビューに切り換わります。

ガイドラインの表示を切り換える

コーナーカメラにガイドラインの表示する/しないを設定できます。

1 画面にタップする



2 「ガイドライン表示」の **する** / **しない** にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

3 **OK** にタップする

アドバイス

- 「コーナーカメラの設定」からでも設定できます。
→「ガイドラインを表示する」(P343)

リアカメラを使う

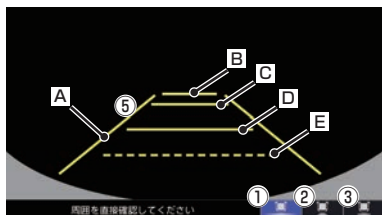
標準装備または別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラ映像を表示できます。

お知らせ

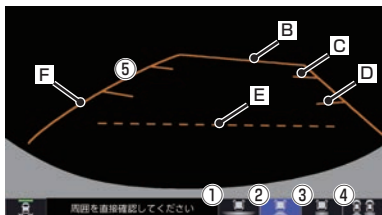
- ・ビュー切り換えは、リアワイドカメラを接続している場合に可能です。
- ・ダイナミックガイドライン表示は、車両の装備やグレードが対応している必要があります。
- ・リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください。

表示内容について

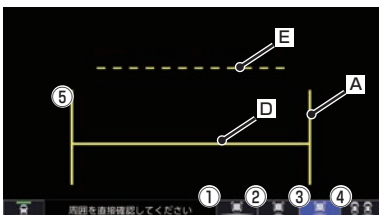
ノーマルビューおよびワイドビューの場合



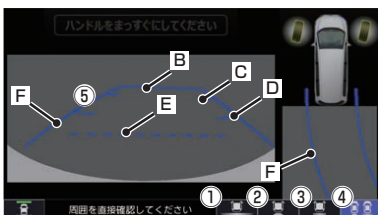
ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



トップダウンビューの場合



ダブルビューの場合



※ トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。

- ① ワイドビューに切り換えます。
- ② ノーマルビューに切り換えます。
- ③ トップダウンビューに切り換えます。
- ④ ダブルビューに切り換えます。
- ⑤ **ガイドライン(目安線)** ※1
車両の幅や距離の目安となる線です。
A: 車両左側から約 25cm の目安
B: リアバンパーから約 3m の目安
C: リアバンパーから約 2m の目安
D: リアバンパーから約 0.5m または 1m の目安 (車種により異なります)
E: テールゲート開閉可能な目安

E: ダイナミックガイドライン
ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。駐車枠と自車との角度によってガイドラインの色が変わります。

お知らせ

- ・ガイドラインは表示する / 表示しないを設定できます。
→「ガイドラインの表示を切り換える」(P264)

※1 車種によって異なります。

リアカメラの映像を表示する

1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

カメラ映像に切り換わります。
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

アドバイス

- リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。
→「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P341)
- 前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合、設定したビューで表示します。
ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

リアカメラのビューを切り換える

リアワイドカメラを接続している場合に、ワイドビュー、ノーマルビュー、トップダウンビューを切り換えることができます。

1 切り換えたい“ビュー”に タップする

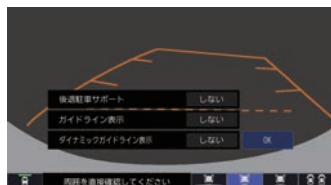


選んだビューに切り換わります。

ガイドラインの表示を切り換える

リアカメラにガイドライン表示する/しないを設定できます。

1 画面にタップする



2 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の 「する」/「しない」にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

3 「OK」にタップする

アドバイス

- 「リアカメラの設定」からでも設定できます。
→「ガイドラインを表示する」(P341)

マルチビューカメラを使う

マルチビューカメラシステムが接続されている場合、ディスプレイにマルチビューカメラ映像を表示できます。

お知らせ

- マルチビューカメラシステム、Honda スマートパーキングアシストシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

表示するには

■ フロントカメラ映像を表示する

マルチビューカメラを接続すると  キー（オプションボタン）にカメラ切換機能が設定されます。

1 キーを押す

▼
フロントカメラ映像に切り換わります。再度、 キーを押すと、元の画面に戻ります。

アドバイス

-  キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P34) で設定できます。

■ リアカメラ映像を表示する

1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

▼
リアカメラ映像に切り換わります。
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

Honda スマートパーキングアシストシステム

バック駐車や縦列駐車の手動操作を自動でアシストする機能です。

カメラで駐車枠を自動認識します。

このシステムは自動駐車システムではありません。バック駐車、縦列駐車時に運転者のハンドル操作の負担を軽減するための運転支援システムです。駐車時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。

アドバイス

- アシスト音声が流れているときに [VOL -] または [VOL +] キーを押すと、音量を調節できます。

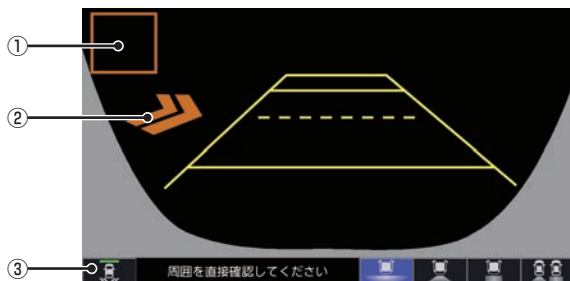
リアカメラ de あんしんプラスを使う

リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合、下記の機能を利用できます。詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラスの取扱説明書をご覧ください。

後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときのサポート機能です。

リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両や人などを検知し、運転者にお知らせします。



① 接近物

接近物に枠を表示します。(ワイドビューの場合のみ)

② 接近矢印表示

後方に接近物を検知すると「>>」を表示します。

③

タップするたびに後退出庫サポートのON/OFFが切り換わります。

後退出庫サポートがONになるとアイコンの表示点灯が緑色に点灯します。
故障している場合やカメラが汚れている場合は、表示点灯が橙色に点灯します。



：故障アイコン



：汚れアイコン

後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせします。走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告レベル低



警告レベル低ではマーク表示で警告します。

- : 左隣の車線で他車が走行中
- : 右隣の車線で他車が走行中
- : 両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高



警告レベル高では警報音と画面表示で警告します。

警告レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

車線キープサポート

車両の車線逸脱の可能性を検知すると、運転者にお知らせします。走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。



警報音と画面表示で警告します。

後方死角サポート/車線キープサポートのアイコンについて

リアカメラの設定 (P340) で、各サポートの設定を[する]にしている場合、各アイコンが表示されます。

各アイコンにタップすると、サポート機能のON/OFFを切り換えることができます。

	後方死角サポート
	車線キープサポート

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色

※ 緑色のアイコンに斜め線が表示されているときは、ONになっていますが走行速度が一定以下のため、警告をしない状態であることを示します。

※ アイコンが赤色の場合は、故障しています。Honda 販売店にご相談ください。

お知らせ

- リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチをOFFにしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

: 汚れアイコン

■ 後退出庫サポートについて

このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 後方死角サポートについて

このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更をサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 車線キープサポートについて

このシステムは走行車線から逸脱しようなときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

リアカメラ de あんしんプラス (ダブルビュー機能付き) を使う

リアカメラ de あんしんプラス (ダブルビュー機能付き) に対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合、リアカメラ de あんしんプラス (P266) に加え、下記の機能を利用できます。詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラス (ダブルビュー機能付き) の取扱説明書をご覧ください。

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、駐車しやすいようにサポートする機能です。
駐車枠を検出し、駐車枠と自車とのズレ (角度) をガイドラインの色でお知らせします。



- ①  タップするたびに後退出庫サポートの ON/OFF が切り換わります。
後退出庫サポートが ON になるとアイコンの表示点灯が緑色に点灯します。
故障している場合やカメラが汚れている場合は、表示点灯が橙色に点灯します。

 : 故障アイコン

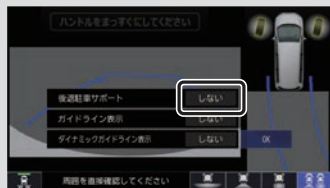
 : 汚れアイコン

② ガイドライン

駐車枠と自車とのズレ (角度) に応じてガイドラインの色が変わります。(緑色/水色/青色) 駐車枠が検出できない場合、ガイドラインは赤色になります。

アドバイス

- 本機能は、画面にタップすることで使用する / 使用しないを設定できます。



パーキングセンサーを使う

車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。詳しくは、パーキングセンサーの取扱説明書をご覧ください。※1

※1 標準装備のパーキングセンサー装着車は、車両の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 標準装備または別売のパーキングセンサーの接続が必要です。
- 車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

表示内容について

■ カメラ映像以外のとき



① 車両前方の注意表示

- : 左前方
- : 真ん中前方
- : 右前方

② 消去

パーキングセンサー画面を消去します。

アドバイス

- 「パーキングセンサーの設定」の「パーキングセンサー表示割り込み」で[しない]に設定すると、カメラ映像以外のときに表示されるイラストとメッセージを表示しないようにすることができます。
→「パーキングセンサーの設定」(P345)

■ カメラ映像（リアカメラなど）のとき
障害物を検知すると、カメラ映像に注意表示をします。

フロントカメラ映像画面



リアカメラ映像画面



① 車両前方の注意表示

- : 左前方
- : 真ん中前方
- : 右前方

② 車両後方の注意表示

- : 左後方
- : 真ん中後方
- : 右後方

■ 障害物を検知したときの動作

ブザー音の間隔	障害物との距離 ^{※1}		インジケーター
	左前方、右前方、左後方、右後方	真ん中前方 ^{※2} 、真ん中後方 ^{※2}	
長い	—	100cm 付近	点滅 (黄色) ^{※3}
短い	50cm 付近	50cm 付近	点滅 (橙色)
非常に短い	40cm 付近	40cm 付近	
連続	30cm 付近、 もしくはそれ未満	30cm 付近、 もしくはそれ未満	点滅 (赤色)

※1 距離は車両により異なる場合があります。詳細については、パーキングセンサーの取扱説明書、標準装備の場合は車両の取扱説明書をご確認ください。

※2 車両により装備が無い場合があります。

※3 真ん中前方センサーまたは真ん中後方センサーのみが障害物を検知します。

カメラについて



- カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。

カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離間隔を補うための目安です。実際の周りの状態を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と間隔が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(車両のバックミラーやサイドミラーで見たときと同じ左右を反転した映像です。)
- 夜間または暗所などの状態により、カメラの映像が見えない(見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる場合があります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解したりすることは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなど付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露が発生、故障、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障、破損して火災、感電の原因となります。

カメラのガイドライン表示について

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドライン(P261,P263)の距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅、距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときは、ガイドラインと実際の路面上の距離、障害物との距離に誤差が生じます。
 - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき
 - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

後席会話サポート機能を使う

本機のマイクに向かって発話した声を後席スピーカーから出力させることができます。

後席の人の声を前席スピーカーから出力させることはできません。

後席会話サポート機能を使用中は、オーディオの音量がしぼられます。

後席会話サポートを停止する

1 後席会話機能の **停止** にタップする

後席会話サポートが停止します。

後席会話サポートを開始する

1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **後席会話** にタップする



3 後席会話機能の **開始** にタップする



本機のマイクに向かって発話してください。
後席の方がマイクの声を聞き取りにくい場合は、音量の[1]～[8]の数字をタップして調整してください。

お知らせ

- 「地図画面にボタン表示」を[表示する]に設定すると、地図画面に[会話]ボタンを表示します。2画面表示をしている地図画面では、[会話]ボタンは表示されません。
- 地図画面の[会話]にタップすると、後席会話サポート機能の開始/停止が切り換わります。開始/停止に合わせて表示が点灯/消灯します。
- 車内の環境によっては声にエコーがかかったような状態で聞こえる場合があります。

ドライブレコーダーを使う

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作について詳しくは、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 録画データの確認や編集（P275～P278）はドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。
[現在地]キーなどを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画の種類について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」の4種類があります。また、静止画を撮影することができます。録画された動画/静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDHCメモリーカードに記録されます。

お知らせ

- 録画された動画は、高画質モードで約39秒、標準モードで約52秒ずつを1ファイルにして保存します。
- 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDHCメモリーカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に自動削除します。（急加速/急減速を検知した記録がある場合は自動削除されません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速/急減速を新たに検知した場合は、古い順に自動削除をする場合があります。）
- 「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」は、車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

■ 常時録画

車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONにしている間、ドライブレコーダーは常時録画を行います。

アドバイス

- ドライブレコーダーの動画および静止画再生中や、ドライブレコーダーの設定などを行っているときは録画が停止します。録画中/録画停止中はステータスバーに表示されるアイコンで確認してください。

■ 手動録画

ナビゲーションを操作して録画を行います。手動録画した動画は自動削除されません。

■ 駐車時録画

エンジンスイッチをOFF後、約30分間録画を継続します。

お知らせ

- 設定モードなど常時録画を停止している状態で、エンジンスイッチをOFFにした場合「駐車時録画」の設定を[する]にしても、駐車時録画が開始されません。設定モード終了後、エンジンスイッチをOFFにしてください。

■ 駐車時録画プラス

「駐車時録画」の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃を検知すると、約1分間、録画を自動で開始します。

お知らせ

- 衝撃を検知すると、約1分間（検知後の約4秒後から約60秒間）の録画を行います。

ドライブレコーダーアイコンの種類

ステータスバーに以下のアイコンが表示されます。



	常時録画中
	手動録画中
	録画停止中

お知らせ

- ・ドライブレコーダーとの通信に時間がかかるため、アイコンの表示は実際のドライブレコーダーの状態とずれる場合があります。

手動録画する

1 キーを長押しする

手動録画が開始されます。

お知らせ

- ・手動録画を停止するには、再度、 キーを長押ししてください。

静止画を撮影する

あらかじめ、QUICKメニューに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「QUICKメニューをカスタマイズする」(P35)

1 現在地画面で **QUICK** → **ドライブレコーダー静止画撮影** をタップする

静止画を撮影します。

録画した動画 / 静止画を確認する

ドライブレコーダーが録画したデータを確認します。

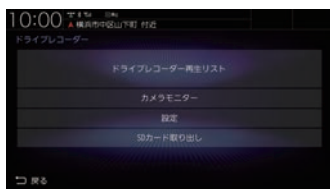
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定/情報** → **情報** にタップする



3 **ドライブレコーダー** → **ドライブレコーダー再生リスト** にタップする



4 確認したい“ファイルの種類”にタップする



5 リストから確認したい“録画ファイル”にタップする

6 **再生** にタップする



録画データの再生画面を表示します。

■ 録画ファイルリストについて



① ファイルの種類

動画リスト/静止画リストを切り換えます。

② **保存フォルダ**

保存フォルダに移動した動画リストを表示します。

③ 録画ファイルの年月日、時刻

録画した年月日、時刻を表示します。

④ 戻る

1 つ前の画面に戻ります。

⑤ 録画件数

録画件数を表示します。

⑥ 録画種別アイコン

録画の種類を表示します。

 :手動録画したファイル

 :急加速/急減速情報のあるファイル

④: 高速道路での合流地点情報のあるファイル

P : 駐車時録画プラスのファイル

⑦ 全表示

すべての動画をリスト表示します。

⑧ 手動録画

表示中のリストを手動録画の動画のみにします。

⑨ 再生

選択している録画ファイルを再生します。

⑩ **保存**

選択している動画ファイルを保存フォルダに移動します。

⑪ **全消去**

リストに表示の録画ファイルをすべて消去します。

■ 録画データの再生画面について

動画再生画面



静止画再生画面



① 録画場所の地図

② **戻る**

録画ファイルのリスト画面に戻ります。

③ 録画情報

録画時の日時、位置情報を表示します。

④ 録画時点の車の走行速度

⑤ 録画映像

タップすると全画面表示になります。

⑥ **消去**

再生中の録画ファイルを消去します。

⑦ **◀, ▶, ⏸, ⏮, ⏭**

動画ファイルの早送り / 早戻し、一時停止 / 再生をします。

⑧ 録画時点の車の加速 / 減速レベル

録画時の加速 / 減速レベルを表示します。表示更新は約 1 秒間に 1 回のため実際の車の加速 / 減速レベルとは異なる場合があります。

⑨ **◀, ▶**

前後の録画ファイルを再生します。

⑩ **地点登録**

撮影場所を地点登録します。

⑪ **目的地にする**

撮影場所を目的地に設定します。

お知らせ

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベルは目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報（加速 / 減速レベルなど）や[地点登録]、[目的地にする]が非表示になったりすることがあります。

録画データを消去する

各リストの全消去、再生中ファイルの1件消去ができます。

■ 各リストのファイルをすべて消去する

1 消去したい“リスト”を表示する

[動画]、[静止画]、[保存フォルダ]のいずれかにタップします。

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P275)

2 [全消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

リストのファイルをすべて消去します。

アドバイス

- ファイルを全消去しているときに他の画面に変更した場合は消去を中断します。

■ ファイルを1件消去する

1 消去したい“ファイル”を再生する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P275)

2 [消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

再生中のファイルを消去します。

保存フォルダへ移動する

録画した動画ファイルを「保存フォルダ」に移動します。

アドバイス

- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画ファイルは自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- 保存フォルダへの移動は本機で行ってください。

1 動画リストを表示する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P275)

2 移動したい動画ファイルを選択し、[保存] にタップする



選択したファイルが保存フォルダに移動します。

現在の映像を確認する

ドライブレコーダーが録画する映像を確認できます。

走行中は映像を表示しません。

1 [MENU] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 [設定/情報] → [情報] にタップする

3 [ドライブレコーダー] → [カメラモニター] にタップする

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示します。

お知らせ

- 現在の映像を表示しているときは、カメラ映像の音声は出力されません。

ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーの設定はドライブレコーダーにSDカードを挿入している状態で行ってください。

設定内容については「ドライブレコーダーの設定」(P346)を参照してください。

SDカードをフォーマットする

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** → **設定** にタップする
- 4 「SDカードのフォーマット」の**フォーマットする** にタップする
- 5 **フォーマットする** にタップする



SDカードのフォーマットを開始します。
フォーマット中は車のエンジンスイッチをOFFにしないでください。

SDカードを取り出す

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを取り出すために、以下の操作をしてください。

以下の操作を行わず、SDカードを取り出すとファイルが壊れる場合があります。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** にタップする
- 4 **SDカードの取り出し** にタップする
- 5 **取り出す** にタップする



ドライブレコーダーからSDカードを取り出すことができます。

リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)

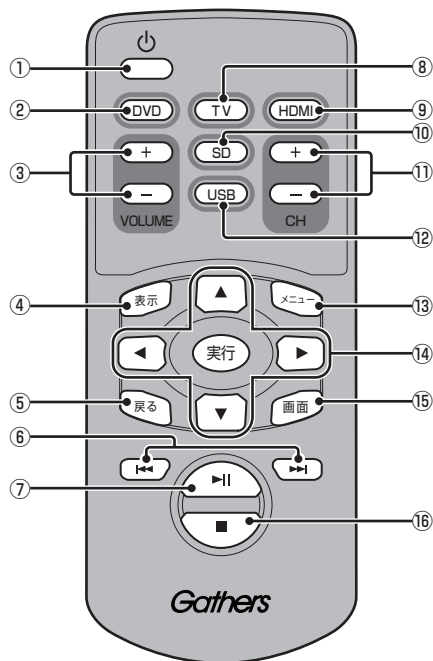
リア席モニターでは、HDMI接続をした場合に限り専用の赤外線リモコンで本機のオーディオ操作をすることができます。

専用赤外線リモコンについて

リア席モニターを経由して操作を行いますので、リア席モニターの受光部に向けて操作をしてください。再生可能なオーディオソースが本機に挿入または接続されていない場合は、操作が無効となります。

お知らせ

- ・リモコン操作の反応に時間がかかる場合があります。



- ① 電源 キー**
リア席モニターの電源をON/OFFします。
- ② DVD キー**
DVD-Video/VRを再生します。
- ③ VOLUMEの +、- キー**
オーディオ機能の音量を調節します。
ただし、オーディオ音声のミュート中は、音量の調節ができません。
- ④ 表示 キー**
TVのCH情報を表示します。
- ⑤ 戻る キー**
リア席モニターの設定画面で1つ前の画面に戻ります。
- ⑥ ◀◀、▶▶ キー**
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ⑦ || キー**
一時停止/再生ができます。
- ⑧ TV キー**
TVを表示します。
- ⑨ HDMI キー**
HDMI再生画面を表示します。
- ⑩ SD キー**
SDカードの動画を再生します。
- ⑪ CHの +、- キー**
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ⑫ USB キー**
USBデバイスの動画を再生します。
- ⑬ メニュー キー**
DVDのメニュー画面を表示します。
- ⑭ ▲、▼、◀、▶、実行 キー**
DVDのメニュー画面を操作します。
- ⑮ 画面 キー**
リア席モニターの画面設定が行えます。詳細は、リア席モニターの取扱説明書をご確認ください。
- ⑯ ■ キー**
DVDの停止ができます。

リア席モニターに表示できる映像

各種 AV ソースのうち動画再生ソースの映像を表示できます。

- DVD
- TV
- 動画ファイル (SD/USB)
- HDMI

アドバイス

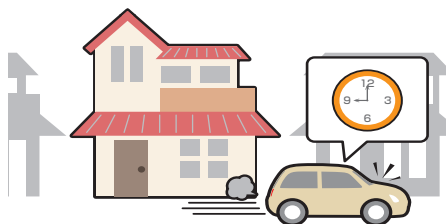
- ドライブレコーダーの映像、Apple CarPlay の映像は表示できません。
- リア席モニターは映像出力のみです。ソース選択や画面の操作を行うことはできません。

インターナビ機能

インターナビとは

安心で快適なカーライフを実現するための
Honda 車オーナー専用のサービスです。

出発時刻アドバイザー



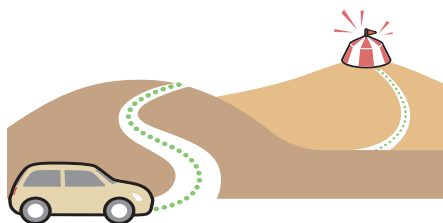
あらかじめルートと到着時間を設定しておく
と、推奨出発時間を案内します。

インターナビ・フローティングカーシステム



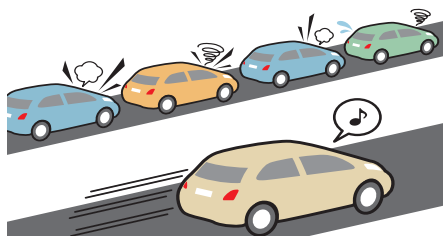
会員全員で共有できる交通情報で最適なルー
トを提供します。

My スポット



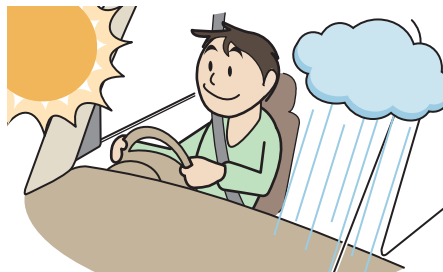
パーソナル・ホームページで登録した My ス
ポットを目的地に設定できます。

internavi 交通情報 / internavi ルート



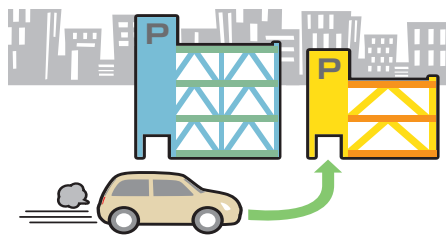
目的地までの交通情報を取得し最短時間の
ルートを案内したり、走りやすいルートなど
様々なニーズに合わせて案内したりします。

internavi ウェザー



現在地や目的地周辺の天気情報を確認できます。

駐車場セレクト



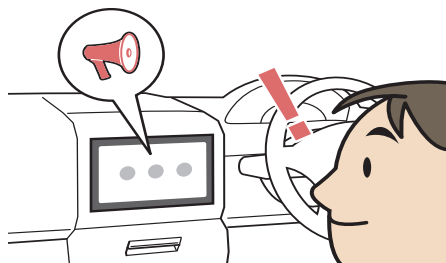
料金など希望の条件に合う駐車場を案内します。

無償地図更新サービス



無償で最大3回地図更新できます。

Hondaからのお知らせ



Hondaからの重要なお知らせを受信することができます。

インターナビをご利用になる前に

インターナビの各種サービスをご利用になるには、会員登録（無料）と本機のセットアップが必要です。

操作の流れ

お客さま

インターナビ・プレミアムクラブ入会
（申し込み専用の登録申込書に記入）

または

Honda Total Care の会員申込
（申し込み専用のタブレット端末申し込み
または登録申込書）



Honda 販売店

申し込みの内容をもとに
インターナビ情報センターへ登録



インターナビ情報センター

「登録完了のご案内」を発行



Honda 販売店

本機のセットアップ
・リンクアップフリーの接続設定
・本機のパスワード（暗証番号）の入力



サービスをご利用いただけます。

会員登録（無料）の手続きについて

会員登録はHonda販売店（Honda Cars 店、ホンダオートテラス店）で承ります。

インターナビ・プレミアムクラブ入会申し込みまたはHonda Total Careの会員登録時に必要事項を記入してください。

登録後、インターナビ情報センターから「登録完了のご案内」を発行します。必ず、「登録完了のご案内」をHonda販売店からお受け取りください。

本機のセットアップについて

Honda販売店にて、インターナビをご利用できるように本機のセットアップをさせていただきます。

お知らせ

- ・中古などで本製品を入手された方も、最寄りのHonda販売店（Honda Cars 店、ホンダオートテラス店）で会員登録手続きを承ります。インターナビ・プレミアムクラブ入会およびHonda Total Careの基本会員の入会金、会費などは不要です。
- ・インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careのサービスを受けるには、お客さまの個人情報の登録が必要となります。そのため、本製品を譲渡する場合は、個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda販売店へご依頼ください。
- ・カーナビ用パスワード（暗証番号）は、Honda販売店でお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。
- ・カーナビ用パスワード（暗証番号）は大変重要なものですので、「登録完了のご案内」を紛失したり、第三者に渡したりしないよう、管理には十分ご注意ください。

データ通信について

本機でインターネットのサービスを利用するには、インターネット情報センターへデータ通信を行う必要があります。

■ リンクアップフリー

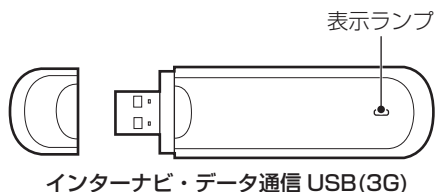
リンクアップフリーとは、本機とインターネット情報センターとの間でデータ通信を無料で提供するサービスです。

- ・リンクアップフリーを接続してお使いいただくには、車検時にHonda販売店で更新手続きをしていただく必要があります。Honda販売店以外で車検を受けられた場合は、別途更新手数料がかかります。詳しくは、Honda販売店にお問い合わせください。
- ・リンクアップフリーは、Hondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaがお客さまにインターネットシステムのデータ通信を所定の条件下で無料提供するものです。本サービスの提供期間や通信品質については、Hondaはその責任を負うものではありません。

■ インターナビ・データ通信USB

リンクアップフリーを利用するには「インターネットナビ・データ通信USB (リンクアップフリーの専用通信機器)」を本機のインターネットナビUSBコードと接続し、正しく設定されている必要があります。

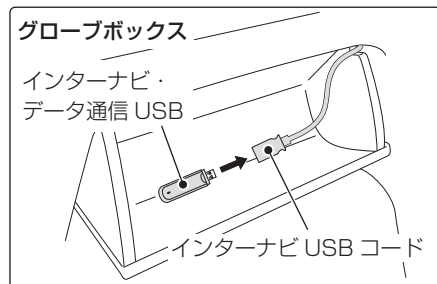
接続先のインターネットナビUSBコードは、車種により接続箇所が異なります。グローブボックスまたはセンターロアポケットなどにあります。



インターネットナビ・データ通信 USB (3G)

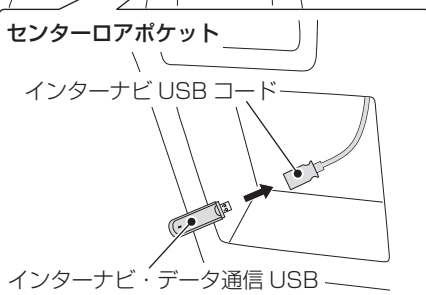
グローブボックス

インターネットナビ・データ通信 USB



センターロアポケット

インターネットナビ USB コード



表示ランプについて

ランプの状態	電波の状態
青点灯	電波強、通信中
緑点灯	電波弱、通信中
赤点灯	USIM エラー
黄点灯	電波サーチ
青点滅	電波強、待ち受け
緑点滅	電波弱、待ち受け
赤点滅	圏外
消灯	非装着、非供給

次のページにつづく

お知らせ

- 通信の特性上、高速での移動中や基地局からの距離、電波をさえぎるものなどにより通信ができない場合があります。
- 接続する際は、必ずインターナビUSBコードに接続してください。オーディオのUSB接続ケーブルに接続しても、リンクアップフリーの機能をご利用いただけません。

注意

- インターナビ・データ通信USBを他の車両、ナビゲーションシステム、その他の電子機器に接続してもデータ通信を行うことができません。接続した結果、インターナビ・データ通信USBや接続した機器に不具合が生じて、補償の対象となりません。
- インターナビUSBコードに他のUSB機器を接続しないでください。故障の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、インターナビ・データ通信USBを車内に放置しないでください。

本機をセットアップする

セットアップはHonda販売店にて行います。

1 エンジンスイッチを“ON”にする

2 現在地画面で **internavi** にタップする



車種によっては手順3～5の操作は行いません。フレームNoを取得できていない場合は、internaviのシステム設定画面が表示されますので、手順3以降を操作してください。

→「フレームNoを設定する」(P330)

3 **フレームNo設定** にタップし、フレームNoを入力する

→「フレームNoを設定する」(P330)



4 再度、現在地画面で **internavi** にタップする

5 カーナビ用パスワード(暗証番号)を入力する

6 **決定** にタップする

7 **接続する** にタップする



初回認証が開始されます。

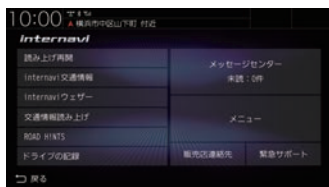
お知らせ

- カーナビ用パスワード(暗証番号)は、インターナビ情報センターから発行される「登録完了のご案内」に記載されています。紛失しないようにご注意ください。
- カーナビ用パスワード(暗証番号)を規定回数間違っていると、一定時間認証ができなくなります。
- 初回認証ができない場合は、フレームNoが本機に正しく登録できていない可能性があります。フレームNoの確認方法については、「フレームNoを確認する」(P330)をご覧ください。

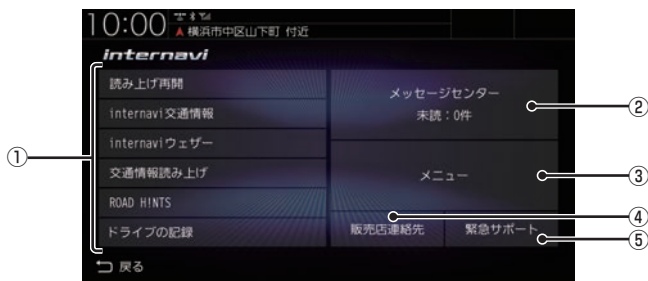
internavi 画面を表示する

交通情報や天気情報など、各サービスを確認することができます。

1 現在地画面で **internavi** に タップする



internavi 画面を表示します。



① internavi ダイレクトメニュー

よく使う機能を設定できます。

→「internavi ダイレクトをカスタマイズする」(P329)

② メッセージセンター

Honda からのお知らせなどを確認することができます。

→「Honda からのお知らせを確認する」(P289)

③ メニュー

インターナビの各メニューを表示できます。

→「インターナビ情報を確認する」(P294)

④ 販売店連絡先

ディーラーの連絡先や、任意保険の連絡先を表示できます。

→「販売店の連絡先を表示する」(P298)

⑤ 緊急サポート

緊急サポート画面を表示できます。

→「緊急サポートを表示する」(P298)

Hondaからのお知らせを確認する

地図データの更新や製品に関する重要な情報などをHondaからお知らせします。

Hondaからのお知らせがあると・・・

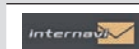


1 **今すぐ確認** にタップする

お知らせの内容を表示します。

アドバイス

- [internavi] ボタンに未読マークを表示します。



未読メッセージがある場合に
表示します。



重要度の高い未読メッセ
ジがある場合に表示します。

履歴を確認する

- 1 現在地画面で **internavi** に
タップする
- 2 **メッセージセンター** にタップする
- 3 確認したい“リスト”にタップする

お知らせの内容を表示します。

アドバイス

- [未読順]にタップすると未読メッセージをリストの先頭に並べます。
[日付順]にタップすると日付順に並べます。
- メッセージセンター画面で、 マークが表示されているメッセージは、重要度が高いメッセージです。
- メッセージは有効期限が過ぎると自動的に削除します。

インターナビ交通情報を確認する

インターナビ交通情報センターが提供する交通情報を確認することができます。

フローティングカー情報について

全国の会員から取得した走行経路、所要時間などの走行データをフローティングカー情報といいます。インターナビ情報センターは、これらの走行データ（フローティングカー情報）およびVICS情報を統合してインターナビ交通情報として提供しています。

- ・フローティングカー情報は、30分以内に同じ道路を走行したデータがある場合はその情報を提供します。無い場合は、過去の同時間帯のデータを統計処理した情報を提供します。
- ・フローティングカー情報は、すべての道路を対象とするものではありません。
- ・提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客さまを特定できない形式で処理／保存します。

表示内容について



① 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を点線で表示確認できます。

② 急減速多発地点表示（安全運転コーチング）

ルート案内中、「急減速多発地点」に近づくと案内します。^{※1}

※1 ルート案内ではinternaviルートに設定してください。
→「internaviルートを探索する」(P107)

■ 渋滞情報の表示

赤色（点線）	渋滞
橙色（点線）	混雑
青色（点線）	順調

アドバイス

- ・縮尺が10m～1kmのときに表示します。
- ・渋滞情報は表示する／しないを設定できます。→「VICSの設定」(P307)

■ 防災情報の表示

防災情報

取得した交通情報に防災情報が含まれている場合、以下の画面を表示します。



アドバイス

- 再度、表示させたい場合は現在地画面で [internavi] → [メニュー] → [internavi 図形情報] にタップしてください。
- 防災情報の配信は、パーソナル・ホームページから停止することができます。パーソナル・ホームページにログインし、[防災情報配信] → [配信を停止する] をクリックしてください。

通行実績情報マップ

大規模な地震などが発生した場合、インターナビ情報センターから通行実績情報を配信します。

表示するには、現在地画面で [internavi] → [メニュー] → [通行実績情報マップ] → [通行実績情報マップ表示設定] → [表示する] にタップしておく必要があります。



緑色 (点線)

アドバイス

- 縮尺が 10m ~ 1km のときに表示します。

手動で情報を取得する

現在地周辺または任意の地点のインターナビ交通情報を取得することができます。

アドバイス

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P48) から同じ操作となります。

1 現在地画面で **internavi** に タップする

2 internavi ダイレクトメニュー (P288) から **internavi 交通情報** にタップする

internavi ダイレクトメニューにない場合は、[メニュー] → [internavi 交通情報] にタップしてください。



インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の情報を受信します。

アドバイス

- インターナビ交通情報はあらかじめ設定しておくことで自動取得できます。
→「情報取得の設定をする」(P330)
- ルートを設定している場合は、現在地およびルート沿い、目的地周辺の交通情報も取得します。

internavi ウェザーを確認する

気象情報を取得して確認することができます。

画面表示について

アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「気象予報アイコンの表示」を[する]に設定しておく必要があります。
→「internavi ウェザーを設定する」(P329)



① 受信時の天気

受信した時間の天気を表示します。

② 予報の天気

予報時刻の天気を表示します。

③ 気温（予報）

予報時刻の気温を表示します。

④ 予報時刻

受信した3時間後の時刻です。

⑤ 降水確率（予報）

予報時刻の降水確率を示します。

アドバイス

- 取得できない場合や、取得場所に気象情報がない場合は表示されません。
- 3Dビューマップ (P61) 表示中は、気象情報に応じて空が変化します。
- 週間天気予報は表示されません。

地図上の天気表示

地図内に降雨、降雪、津波などの情報があればエリア内で各マークを表示します。また、気象警戒エリアに入ると、音声とテロップで案内します。



アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「地図上の天気表示」および「音声お知らせ」を[する]に設定しておく必要があります。→「internavi ウェザーを設定する」(P329)
- 地図上に表示される降雨、降雪、津波は、20km以下スケールのときに表示します。

降雨

降水量によって表示が変わります。

降水量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～4mm	■	■
5～29mm	■	■
30mm～	■	■

降雪

降雪量によって表示が変わります。

降雪量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～2mm	■	■
3～4mm	■	■
5mm～	■	■

津波

規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報
■	■	■

手動で情報を取得する

お知らせ

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面(P48)からも同じ操作となります。

- 1 現在地画面で **internavi** にタップする
- 2 internaviダイレクトメニュー(P288)から **internavi ウェザー** にタップする

internaviダイレクトメニューにない場合は、[メニュー]→[internavi ウェザー]にタップしてください。

▼
インターネットナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の情報を受信します。

天気情報の割込み表示について

取得した気象情報に台風情報や警報・注意報があると詳細情報を表示します。



アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「天気情報割込みの表示」を[する]に設定しておく必要があります。
→「internavi ウェザーを設定する」(P329)
- インターネットナビ交通情報の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示します。

マルチインフォメーションディスプレイの天気表示

今日および明日の天気情報をメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
※ 車両の装備やグレードが気象情報表示に対応している必要があります。



アドバイス

- 気象情報を取得する必要があります。
→「手動で情報を取得する」(P293)
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

インターネット情報を確認する

インターネットの各種サービスを確認することができます。

internavi 情報サービスを表示する

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** にタップする



インターネットナビ情報サービス画面を表示します。

3 確認したい“サービス”にタップする

選択したサービスの確認ができます。

アドバイス

- 各種サービス情報は、インターネットナビの提供サービスに伴い、変更される場合があります。

登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する

パソコンで登録した情報と本機で登録した情報をお互いに最新状態にすることができます。

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** →

すべての情報をパーソナルHPと同期する に
タップする

同期が完了します。

アドバイス

- 登録地点は最大300件まで登録できます。
- 自宅は同期対象となりません。

パーソナル・ホームページとスマートフォンアプリについて

会員専用のパーソナル・ホームページ以外にも、スマートフォン向けアプリもあります。燃費履歴やメンテナンス時期などの情報サービスを無料で利用できます。

お知らせ

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信費はお客様の負担となります。
- ホームページの内容は予告なく変更されることがあります。

■ インターナビ・プレミアムクラブの方

パーソナル・ホームページ

インターネットナビ・プレミアムクラブのホームページからログインすることで利用できます。
<https://www.honda.co.jp/internavi/>

スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。

インターネットナビ・リンクアプリ



給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

internavi POCKET (一部有料)



出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、インターネットナビ・プレミアムクラブホームページをご覧ください。
<https://www.honda.co.jp/internavi/>

お知らせ

- はじめてログインする場合は、ログインID/パスワードに、マスターID/マスターパスワードを入力してログインしてください。マスターID/マスターパスワードは、プレミアムクラブ会員登録のときにお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。

■ Honda Total Care会員の方

Honda Total Care会員サイト(PC)

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。

Honda Total Care会員サイト(アプリ)



給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

internavi POCKET (一部有料)



出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

お知らせ

- はじめてログインする場合は、ログインID/パスワードに、仮IDと仮パスワードを入力してログインしてください。「仮ID」は「車台番号」を入力、「仮パスワード」は「Honda Total Care会員番号の下6桁」となっております。

Honda Total Care会員番号は会員申込時にお渡しする会員申込書に記載されています。

My コースのルートを設定する

パーソナル・ホームページで作成したMyコースを本機に取り込んでルート案内することができます。

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** → **Myコース** に
タップする

3 リストから設定したい“コース”
にタップする



4 **ルート計算** にタップする

目的地や経由地にタップすると、選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。



ルート設定が完了します。

お知らせ

- My コースのルートは、本機でルート計算しなおすため、パーソナル・ホームページで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

目的地クリップを利用する

パーソナル・ホームページで目的地クリップを登録しておく、簡単に本機へ目的地を設定できます。

目的地クリップの情報を取得すると・・・



- 1 **目的地に設定** または **経由地に設定** にタップする

ルート設定が完了します。

お知らせ

- ・ パーソナル・ホームページで指定した日時にエンジンスイッチをアクセサリまたはONにすると、情報を取得してトップを表示します。
指定した日時を過ぎた場合は、情報の取得できません。

カーカルテを確認する

車の消耗品の交換時期や車検の時期を管理するカーカルテの情報を本機で確認することができます。

- 1 現在地画面で **internavi** にタップする
- 2 **メニュー** → **カーカルテ** にタップする
- 3 確認したいリストにタップする

各種情報の確認ができます。

アドバイス

- ・ 本機では、交換サイクルや期間などは編集できません。パーソナル・ホームページで設定、変更ができます。
- ・ 車の利用状況により消耗品の交換サイクルの推奨距離や期間は短くなる場合があります。

駐車場セレクトを使う

条件を設定して駐車場を探すことができます。

お知らせ

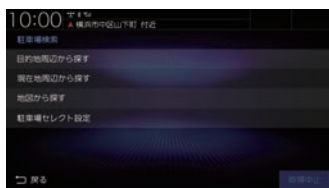
- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P48) から同じ操作となります。目的地を設定している場合は、目的地周辺の駐車場を探します。

1 現在地画面で **internavi** にタップする

2 **メニュー** → **駐車場セレクト** にタップする

internaviダイレクトメニュー (P288) から[駐車場セレクト]にタップした場合は、手順5に進みます。

3 いずれかの“検索方法”にタップする



4 いずれかの“条件”にタップする



5 リストから“駐車場”にタップし、**地点表示** にタップする

選んだ駐車場を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地点メニュー (P48) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P69)
- 一部の駐車場で表示が実際の情報と異なるものもあります。

駐車場セレクトを設定する

推奨する駐車場の条件やリストの並び順を設定します。

1 現在地画面で **internavi** にタップする

2 **メニュー** → **駐車場セレクト** にタップする

3 **駐車場セレクト設定** にタップする

4 **並び替え条件設定** または **詳細条件設定** にタップする

5 優先したい“項目”にタップする



条件の設定が完了します。

緊急時の連絡先を表示する

Honda 販売店や緊急サポートの連絡先を表示できます。

販売店の連絡先を表示する

Honda 販売店などの連絡先を表示できます。

- 1 現在地画面で **internavi** に
タップする
- 2 **販売店連絡先** にタップする
- 3 **Myディーラー** または **任意保険**
にタップする



連絡先を表示します。

アドバイス

- [発信] にタップすると電話情報がある場合、携帯電話を本機と接続していると電話をかけることができます。

緊急サポートを表示する

不意のトラブルにあったときなど緊急サポートに電話をかけて必要な処置や手配を頼むことができます。

お知らせ

- Honda 販売店で緊急サポートの申し込みと、本機のセットアップを完了しておく必要があります。
- 緊急サポートへの連絡には通話料がかかります。

- 1 現在地画面で **internavi** に
タップする

- 2 **緊急サポート** にタップする

緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

- 3 **発信** にタップする



緊急サポートに電話がかかります。

アドバイス

- 表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。
- 緊急サポートへ連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。

地図データ更新サービスについて

■ 無償地図更新サービス

インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care では、本ナビゲーションをご購入の上、会員登録していただいた場合、本製品内の地図データを無償で3回「2019年度版」「2020年度版」「2021年度版」に更新するサービスを提供いたします。

- ・無償地図更新サービスは Honda 販売店 (Honda Cars 店、ホンダオートテラス店) を通じて提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、2019 年・2020 年・2021 年の各年 1 回ずつ提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、各年秋頃の提供を予定しております。なお、提供時期につきましては、インターナビ・プレミアムクラブ会員専用パーソナル・ホームページまたは Honda Total Care 会員サイトでご確認ください。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

お知らせ

- ・無償地図更新サービスは提供時期を過ぎますとサービスをお受けになれません。
 - ・無償地図更新サービスはお受けにならなかった年があっても、サービスの権利を翌年以降に持ち越すことはできません。
 - ・地図更新サービスをお受けになるには、
 - » インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care の会員登録が有効であること
 - » 更新の権利を確認するため、通信接続ができることが前提となります。
- ただし、ナビゲーションシステムからの通信接続ができない場合は、パーソナル・ホームページまたは My ディーラーに登録されている Honda 販売店で更新用のパスワードを発行することが可能です。

■ 有償地図更新サービス

有償の地図更新サービスをホンダアクセスから販売予定です。販売時期は 2022 年秋頃、および 2023 年秋頃を予定しております。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

アドバイス

- ・有償の SD カードを本体に差し込むと、プログラム更新画面が表示されます。[更新する]にタップすると、再起動しバージョンアップが完了します。詳しくは、Honda 販売店までお問い合わせください。
- ・バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。
→「本機の情報を確認する」(P251)

■ 地図更新サービスに関するご注意

本サービスをご利用いただくには、インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care に会員登録していただいていることが原則となります。未登録の方や、中古車で本製品を装着した車両を購入された方は必ず Honda 販売店にて会員登録の手続きを行ってください。本機をホンダアクセスの指定する車種以外に取り付けた場合は、プレミアムクラブのサービスをお受けいただけなくなりますので、ご注意ください。

本機の設定

設定を変更する

本機の設定を変更します。

1 MENU キーを押す

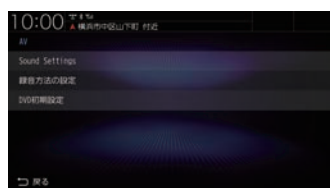
目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 にタップする

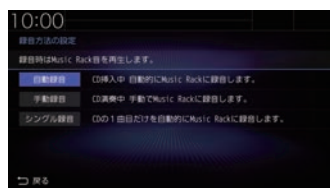
3 変更したい“種別”にタップする



4 変更したい“項目”にタップする



5 設定を変更する



設定の変更が完了します。

■ 設定できる種別について

NAVI 設定	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →「NAVI 設定」(P301)
AV 設定	AV 機能に関する各設定が行えます。 →「AV 設定」(P310)
情報設定	電話やETCに関する設定が行えます。 →「情報設定」(P319)
internavi/ 通信設定	Bluetooth や internavi に関する設定が行えます。 →「internavi/ 通信設定」(P323)
システム設定	操作音やセキュリティ、時計などの設定が行えます。 →「システム設定」(P332)
Apple CarPlay 連携機能設定	Apple CarPlay の設定が行えます。 →「Apple CarPlay 連携機能設定」(P345)
記念距離 メモリー表示	記念距離メモリー画面の「設定」にタップすると、記念距離メモリーに関する設定が行えます。 →「記念距離メモリーを設定する」(P249)

NAVI 設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定 / 情報** にタップする
- 3 **NAVI 設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



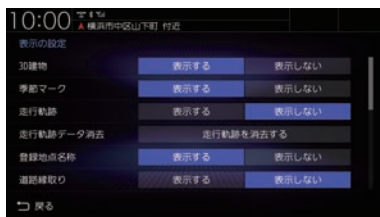
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録地点の編集	登録地の新規登録や情報の変更、消去、並べ替えが行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地点情報を変更する」(P113)の手順5以降と同様に行います。
検索履歴の消去	登録されている検索履歴を消去できます。このボタンをタップした後の操作は、「検索履歴を消去する」(P89)の手順3以降と同様に行います。
自宅の編集	自宅の新規登録や情報の変更、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地点情報を変更する」(P113)の手順5以降と同様に行います。
表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 →「表示の設定」(P302)
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 →「音声の設定」(P304) (操作音などの設定については、「案内音・操作音の設定」(P333)をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 →「探索の設定」(P305)
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。 →「VICSの設定」(P307)
自転車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 →「自転車位置の補正」(P308)

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
3D建物	表示する	3Dビューマップ (P61) 表示中の建物について、表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
季節マーク	表示する	地図に表示する季節マークについて、表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図に表示する走行軌跡について、表示する / しないを設定できます。 (表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。)
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地点名称	表示する	地図に表示する登録地点名称について、表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	表示する	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	表示しない	
レーン情報	表示する	地図画面で表示するレーン情報について、表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
一般道方面看板	表示する	一般道での交差点の手前で方面看板を表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
スクロール方面名称	表示する	スクロール中に表示する方面名称について、表示する / しないを設定できます。→「スクロール方面名称表示について」(P68)
	表示しない	
3Dスクロール	する	3Dビューマップ (P61) 表示中、3Dの状態を維持したままスクロールさせることができます。
	しない	3Dビューマップ (P61) 表示中、スクロールさせると2Dマップ (P61) に切り換わります。
昼夜色	自動切換	地図画面の色を車両のILL (ヘッドランプおよびポジションランプ) 点灯に連動して変更します。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
高速略図自動表示	表示する	高速道路走行時、高速略図を自動で表示する / しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

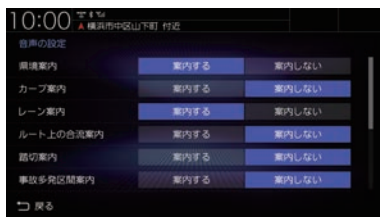
「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
ルート残距離情報	目的地まで	ルート設定時の現在地画面 (P47) で表示する“目的地 / 経由地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
目的地目安線	目的地	地図画面で目的地または経由地の方向を示す直線を表示します。
	次の経由地	
	表示しない	
ETC レーン表示	表示する	地図画面で表示する ETC レーン案内の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
県境案内	案内する	県境通過時の音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	案内する	カーブ案内の音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
ルート上の合流案内	案内する	合流案内（ルート上）の音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
踏切案内	案内する	踏切案内の音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
事故多发区間案内	案内する	事故多发区間での音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
高速道路逆走案内	案内する	逆走を検知したときの音声案内する／しないを設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	読み上げる	交差点名称の読み上げる／しないを設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	読み上げる	方面名称の読み上げる／しないを設定できます。
	読み上げない	
パーキングブレーキアラーム	使用する	パーキングブレーキが引かれた状態で走行したときの案内する／しないを設定できます。
	使用しない	
速度超過アラーム	使用する	走行速度が約95km/hを超えたときの音声案内する／しないを設定できます。
	使用しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

ルート探索に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
車種	軽	本機を装着している車種を選択してください。道路料金の計算や省エネルートの選択に必要な情報となります。 高速道路などでの料金計算時、「小型」は「普通」として計算されます。
	小型	
	普通	
ルート探索条件	推奨	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。 目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ燃費を節約したルートを探します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。
	internavi ルート	ルート探索時の初期値を“インターナビから受信したルート”に変更します。ルートは「スマートルート」、「最速ルート」、「最速無料優先ルート」、「らくらく運転ルート」、「省燃費ルート」、「ETC割引ルート」から選べます。 各ルートをタップするとルートの内容を確認できます。
ルート自動更新	使用する	[使用する]に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制、渋滞が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	使用しない	
スマートIC	使用する	スマートIC (P365) の使用する / しないを設定できます。
	使用しない	
時間曜日規制考慮	使用する	ルート探索時に「長期通行規制」、「スマートIC利用可能時間規制」、「時間規制」を考慮するかしないかを設定できます。
	使用しない	
フェリー使用	使用する	フェリーの使用する / しないを設定できます。
	使用しない	
センシングリルート	使用する	センシングリルート (P365) の使用する / しないを設定できます。
	使用しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

INFO

本機の設定

次のページにつづく

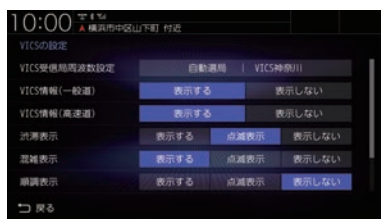
「探索の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
渋滞予測	使用する	渋滞予測の使用する / しないを設定できます。
	使用しない	
ルート学習	使用する	ルート学習とは、元のルートから外れて同じルートを数回走行するとそのルートを学習する機能です。ただし、SA/PAは学習対象外です。学習したルートの使用する / しないを設定できます。
	使用しない	
ルート学習リセット	学習データをリセットする	ルート学習のデータを消去します。
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICS の設定

VICS に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
VICS 受信局 周波数設定	自動選局	VICS 局の指定方法を選択できます。 →「VICS 局を選ぶ」(P127)
	県指定	
	周波数指定	
VICS 情報 (一般道)	表示する	地図に VICS 情報 (一般道) の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
VICS 情報 (高速道)	表示する	地図に VICS 情報 (高速道) の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
渋滞表示	表示する	地図に渋滞情報の表示する / しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
混雑表示	表示する	地図に混雑情報の表示する / しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
順調表示	表示する	地図に順調情報の表示する / しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
VICS 駐車場情報	表示する	地図に VICS 駐車場情報の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

■ センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

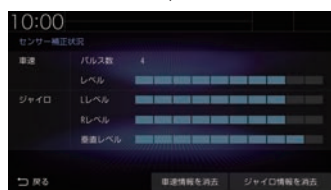
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定/情報** → **NAVI設定** にタップする

3 **自車位置の補正** にタップする

4 **センサー補正状況** にタップする



センサー補正状況の画面を表示します。

5 **車速情報を消去** または **ジャイロ情報を消去** にタップする

6 **消去する** にタップする

センサー学習データの消去が完了します。
この後、「自車位置精度と自動補正について」(P308)を確認して、補正を行ってください。

注意

- 消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- 人工衛星の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

■ 現在地を補正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正できます。

アドバイス

- 通常は人工衛星からの情報を元に自動補正しています。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタップしてください。



1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → NAVI 設定 にタップする

3 自車位置の補正 にタップする

4 現在地補正 にタップする

5 地図スクロールして“実際の車の位置”に マークを合わせる



6 決定 にタップする

7 または にタップして自車の向きを合わせる



8 決定 にタップする



現在地の補正が完了します。

AV 設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定 / 情報** にタップする
- 3 **AV 設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



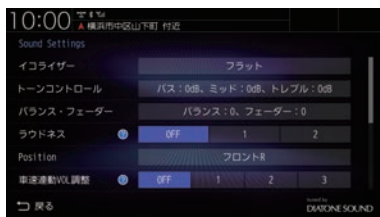
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

Sound Settings	音質に関する設定の変更ができます。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P311)
録音方法の設定	CDの録音に関する設定の変更ができます。 →「音楽CDの録音方法を変更する」(P314)
DVD 初期設定	DVDの初期設定の変更ができます。→「DVDビデオの初期設定」(P315)

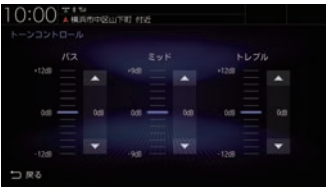
音質の設定を変更する (Sound Settings)

音質に関する設定の変更が行えます。



アドバイス

- ? にタップすると、設定内容を確認できます。

設定名	設定値	設定内容
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。 また、20バンドの周波数に対しての調整が行えます。 (→P313)
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム1	イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム2	
トーンコントロール	調整	イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム1]または[カスタム2]に登録できます。
	バス： -12 ~ 0 ~ +12dB	低音域 (100Hzを中心に) や高音域 (10kHzを中心に) の音量を強調/減衰させることができます。
	ミッド： -9 ~ 0 ~ +9dB	
	トレブル： -12 ~ 0 ~ +12dB	
バランス・フェーダー	バランス： 1 ~ 9 (左) 0 1 ~ 9 (右)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。
	フェーダー： 1 ~ 9 (フロント) 0 1 ~ 9 (リア)	
		

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

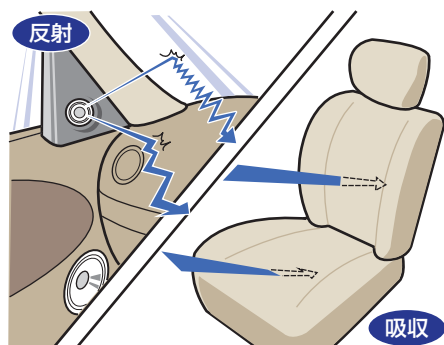
設定名	設定値	設定内容
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
Position	オール	最適な音を聴くシートを変更します。 
	フロント	
	フロントL	
	フロントR	
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量が自動的に調節されます。 数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]にすると音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません。) このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。 「バランス・フェーダー」、「リア席モニターサウンド自動切替」は選択できます。
	OFF	
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態(P132)で行ってください。
PremiDIA WIDE	OFF	すべての音源について、左右の広がりとお行きを付加します。
	1	
	2	
サラウンド	NORMAL	広いホールやステージ、ライブハウスにいるような音響効果を加えます。 NORMALはOFFの状態です。
	HALL	
	STAGE	
	LIVE	
リア席モニター サウンド自動切替	ON	ハイグレードスピーカーシステムの車種専用チューニングを設定しており、かつリア席モニターがデジタル接続されている場合、リア席モニター用の音質に自動で切り替えます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整します。

イコライザー調整について



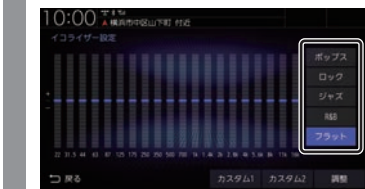
ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。



そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

- 1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする
- 2 好みの“ジャンル”にタップする

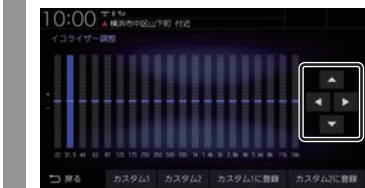


イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

- 1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする
- 2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタップする
- 3 **調整** にタップする
- 4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



- 5 **カスタム1に登録** または、**カスタム2に登録** にタップする

[カスタム1]または、[カスタム2]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタム○に登録]を行わず[戻る]にタップした場合、変更内容は破棄されます。

音楽CDの録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更できます。

お知らせ

- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 MENU キーを押す

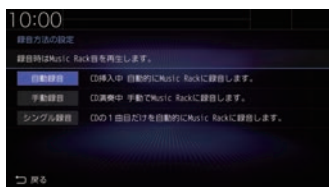
目的地メニューを表示します。

2 [設定/情報] にタップする

3 [AV設定] にタップする

4 [録音方法の設定] にタップする

5 変更したい“録音方法” にタップする



録音方法の変更が完了します。

アドバイス

- 音楽CDの再生情報画面で[録音設定]にタップしても、録音方法の変更が行えます。

■ 自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に録音済みの曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- 録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生(追いかけて再生)を開始します。
- [録音しない]にタップした場合は、[REC●]→[開始する](P182)にタップすることで録音できます。

■ 手動録音について

再生中の音楽CDの曲を[REC●](P182)にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

■ シングル録音について

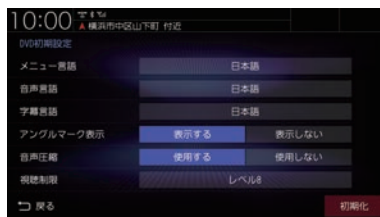
音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで1曲目だけを録音する設定です。

お知らせ

- [録音しない]にタップした場合、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P182)にタップすることで録音できます。
- 録音中に別の曲を選ぶと1曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度1曲目の録音を開始するには、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P182)にタップします。
- この設定のとき、1曲目以外の曲を再生中に[REC●](P182)にタップしても録音はできません。

DVD ビデオの初期設定

字幕や音声言語、視聴制限などの変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、 【日本語】)
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してきたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、 【日本語】)
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、 【日本語】)
アングルマーク表示	表示する	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示する / しないの設定ができます。
	表示しない	
音声圧縮	使用する	ダイナミックレンジ圧縮を使用する / しないを設定できます。 ダイナミックレンジ圧縮とは DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御 (ダイナミックレンジコントロール) し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声です。
	使用しない	
視聴制限		視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。→「 視聴制限のレベルを設定する 」(P316) (工場出荷時は、 【レベル8】)
初期化		DVD ビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。 ただし、視聴制限の設定内容は、工場出荷時の状態には戻りません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にで使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 DVDの初期設定画面を表示する(→P315)

2 「視聴制限」の [レベル〇] にタップする

3 任意の“4桁のパスワード”を入力し、[決定] にタップする



4 確認のため再度、“4桁のパスワード”を入力し、[決定] にタップする

5 “レベル”の [1] ~ [8] にタップし、[決定] にタップする



レベル1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル2～7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル8	ディスクをすべて再生します。

視聴制限レベルの設定が完了します。

レベルを変更する

1 DVDの初期設定画面を表示する(→P315)

2 「視聴制限」の [レベル〇] にタップする

3 設定した“パスワード”を入力し、[決定] にタップする

4 “レベル”の [1] ~ [8] にタップし、[決定] にタップする



視聴制限レベルの変更が完了します。

パスワードを変更する

- 1 DVDの初期設定画面を表示する
(→P315)
- 2 「視聴制限」の **レベル○** に
タップする
- 3 設定した“パスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 4 **視聴制限パスワードを変更する** に
タップする
- 5 “現在のパスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 6 “新しいパスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 7 確認のため再度、“パスワード”を
入力し、**決定** にタップする

パスワードの変更が完了します。

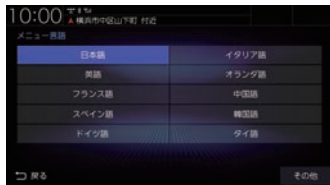
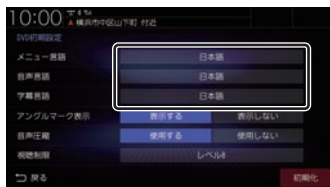
お知らせ

- パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- クリアするには、パスワード入力画面(文字未入力の状態)で **<X>** に5回連続でタップします。

優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語(メニュー言語、音声言語、字幕言語)について、優先させたい言語の設定を行います。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **AV設定** に
タップする
- 3 **DVD初期設定** にタップする
- 4 変更したい **○○語** にタップする
- 5 変更したい“言語”にタップする



優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- [その他]にタップすると手順5の画面にない言語を設定できます。



「言語コード一覧表」(P318)のコードを入力し、**決定**にタップします。

言語コード一覧表

下記のコードは本機でのみ有効です。

コード	言語
6565	アフガル語
6566	アブバシア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキシル語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハーリー語
6673	ビスラマ語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チェコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランドゲール語
7176	ガルシア語
7178	グアラニー語
7185	グジャラート語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアチア語
7285	ハンガリー語
7289	アルメニア語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語

コード	言語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カンナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マラータ語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシュトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語
8278	キルンディ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアチア語
8373	シンハリー語

コード	言語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスワティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニャ語
8475	トゥルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トウィ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラビュック語
8779	ウオロフ語
8872	コーサ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

情報設定

電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **情報設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録番号の編集	登録電話番号の編集、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「よくかける電話番号を編集する」(P255)の手順3以降と同様に行います。
電話の設定	着信や受話/送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。 →「電話の設定」(P320)
ETCの設定	別売のETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。 →「ETCの設定」(P321)
ETC2.0の設定	別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。 →「ETC2.0の設定」(P322)

電話の設定

着信や受話 / 送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
着信音量	1 ～ 4 ～ 7	電話の着信音量を設定できます。
受話音量	1 ～ 4 ～ 7	電話の受話音量を設定できます。
送話音量	1 ～ 4 ～ 7	電話の送話音量を設定できます。
自動着信設定 ^{※1}	自動着信する	[自動着信する]に設定すると、かかってきた電話を自動的に受けることができますようになります。 [自動着信する]にタップした後、自動着信するまでの応答時間(1 ～ 30 秒)を設定する必要があります。 (工場出荷時は[5] 秒)
	自動着信しない	
電話同期設定 ^{※2}	同期する	Bluetoothで接続されたとき、携帯電話の電話帳や履歴を同期する / しないを設定できます。
	同期しない	
履歴表示設定 ^{※2}	表示する	Bluetoothで接続されたとき、本機と接続中に発着信した履歴を表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて、受話音量を変化させるかしないかを設定できます。[ON]にすると、速度が上がれば、音量が大きくなり速度が戻れば、音量も戻ります。
	OFF	

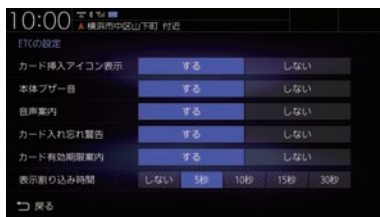
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 自動着信するまでの応答時間は、本機で設定している時間より携帯電話側で設定している時間の方が短い場合は、携帯電話側の設定が優先されます。

※2 PBAP 対応の携帯電話を接続した場合は「電話同期設定」、PBAP 非対応の携帯電話を接続した場合は「履歴表示設定」を表示します。

ETCの設定

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。

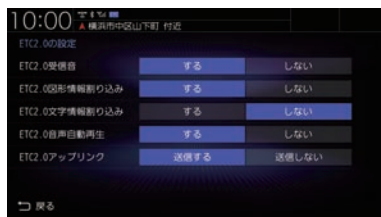


設定名	設定値	設定内容
カード挿入アイコン表示	する	ETCカード挿入アイコンの表示する／しないを設定できます。
	しない	
本体ブザー音	する	ETCカードを挿入したときや、ETCゲート通過時などにETC車載器のブザーを鳴らす／鳴らさないを設定できます。
	しない	
音声案内	する	支払料金などETC車載器からの情報を案内する／しないを設定できます。
	しない	
カード入れ忘れ警告	する	ETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせする／しないを設定できます。
	しない	
カード有効期限内案内	する	ETCカードの有効期限が2ヶ月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせする／しないを設定できます。
	しない	
表示割り込み時間	しない	ETC関連のお知らせ表示時間を設定できます。 [しない]に設定すると、割り込み表示しません。
	5～30秒	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ETC2.0の設定

別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC2.0 受信音	する	情報受信時に音を鳴らす / 鳴らさないを設定できます。
	しない	
ETC2.0 図形情報割り込み	する	図形情報の受信時に割り込み表示する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0 文字情報割り込み	する	文字情報の受信時に割り込み表示する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0 音声自動再生	する	受信した音声情報を自動再生する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0 アップリンク	送信する	走行情報 ^{※1} と路側機 ^{※2} へ自動的に送信する / しないを設定できます。
	送信しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 走行開始地点など、個人情報に関わる情報は送信されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

※2 路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

internavi/ 通信設定

internaviやBluetoothに関する設定が行えます。

Bluetoothの設定

市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。

Bluetooth (ブルートゥース) とは

Bluetoothは近距離 (数メートル以内) での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- 本機はVer.3.0+ EDRに対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP (v1.2以下) AVRCP (v1.5以下)
ハンズフリー	HFP (v1.6以下)
電話帳転送	PBAP (v1.2以下)
シリアル通信	SPP (v1.1以下)

お知らせ

- 本機はBluetoothレシーバーを内蔵しています。
- ご利用のBluetooth機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 接続中にBluetooth機器での操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth機器におけるパスキーの入力方法についてはBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
- 登録に失敗することがあります。再度、登録してください。

お知らせ

- 本機とBluetooth機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や登録できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置にBluetooth機器を置いてください。
- Bluetooth対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。
- Bluetooth機器は、最大6台まで登録できます。
- Bluetooth Audioで使用するプロファイルは、オーディオソースがBluetooth Audioのときのみ接続されます。
- Apple CarPlayを利用中は、下記のBluetooth機能が制限されます。
 - Bluetooth機器の登録ができません。
 - すべての登録済みBluetooth機器とハンズフリー (HFP) 接続ができません。ハンズフリー接続中にApple CarPlayを利用すると、ハンズフリー接続は解除されます。
 - Bluetooth Audio (AVP) 接続は、Apple CarPlayで使用しているiPhone以外であれば接続できます。Bluetoothで接続をしたiPhoneでApple CarPlayを利用すると、Bluetooth Audioは解除されます。

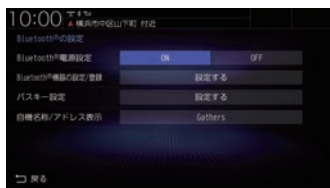
アドバイス

- Bluetooth機器を登録する方法は2通りあります。[カーナビから検索]にタップした場合は、「接続可能なBluetooth機器を検索して登録する」(P324)をご覧ください。[Bluetooth機器から検索]にタップした場合は、「Bluetooth機器から検索して登録する」(P325)をご覧ください。

■ 設定画面の表示

Bluetoothの設定画面を表示します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **internavi/通信設定** にタップする
- 4 **Bluetooth® の設定** にタップする



Bluetoothの設定画面を表示します。

■ 接続可能なBluetooth機器を検索して登録する

本機側から接続可能なBluetooth機器を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

アドバイス

- Bluetooth機器によっては、あらかじめBluetooth機器を検索可能な状態に設定しておく必要があります。設定方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。

- 1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする
- 2 Bluetoothの設定画面(P324)を表示中、**ON** にタップする
本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。
- 3 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする
- 4 **カーナビから検索** にタップする



本機に接続可能なBluetooth機器が表示されます。

- 5 接続したい“機器名”にタップする
- 6 **はい** にタップする



以降の操作は、お使いのBluetooth機器によって異なります。

7 タイプ別の操作を行う

表示されている画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプA



自動的に接続が完了します。

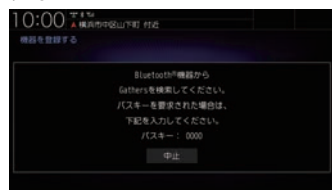
タイプB



Bluetooth 機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば[はい]にタップします。

※ パスキーがもし違う場合は、Bluetooth 機器側の操作をやり直してください。

タイプC



本機側が準備状態ですので、Bluetooth 機器側でパスキーを入力してください。

接続が完了すると、現在地画面に Bluetooth と電波強度のアイコンが表示されます。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetooth の設定画面 (P324) の「Bluetooth 電源設定」を [OFF] にしてください。

■ Bluetooth 機器から検索して登録する
Bluetooth 機器側から本機を検索して、Bluetooth 機器を本機に登録します。

1 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を ON にする

2 Bluetooth の設定画面 (P324) を表示中、[ON] にタップする

本機の Bluetooth 機能が使用可能な状態になります。

3 「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする

4 [Bluetooth® 機器から検索] にタップする

5 Bluetooth 機器から本機を選択する



以降の操作は、「接続可能な Bluetooth 機器を検索して登録する」(P324) の手順 7 以降と同様に行います。

状態アイコンについて

	本機に登録されている Bluetooth 機器を示します。
	本機に登録されている Bluetooth 機器が接続されている状態を示します。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetooth の設定画面 (P324) の「Bluetooth 電源設定」を [OFF] にしてください。

■ Bluetooth 機器を選択する

複数台の Bluetooth 機器を登録した場合、接続する Bluetooth 機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定した Bluetooth 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

1 Bluetooth の設定画面 (P324) を表示中、**ON** にタップする

2 「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする

3 接続したい「機器名」にタップする



4 **電話機接続** または **オーディオ接続** にタップする

接続したい Bluetooth 機器を電話用に使用する場合は [電話機接続] に、Bluetooth Audio 用に使用する場合は AUDIO メニューから [BTA] を選択し、Audio を ON の状態にしてから [オーディオ接続] を選択します。

5 **決定** にタップする

Bluetooth 機器の選択が完了します。

アドバイス

- 本機の起動時に、前回接続していた Bluetooth 機器がない場合は他の登録済み機器に対する自動接続を行います。この接続処理中は画面上での Bluetooth 機器選択ができないことがあります。
- 電話、Bluetooth Audio 両方に対応した Bluetooth 機器の場合は、選択を 1 台にできます。
- Bluetooth Audio 機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

アドバイス

- 電話機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

- シリアル通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

■ Bluetooth 機器を消去する

登録されている Bluetooth 機器を消去します。

1 「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする

2 **消去** にタップする

3 消去したい機器名の「チェックボックス」にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択] にタップすると、すべての機器名を選択できます。
- [全解除] にタップすると、選択状態をすべて解除できます。
- チェックボックス以外のリスト部分にタップすると、1 件だけ消去することができます。

4 **消去** にタップする

5 **はい** にタップする

選択した機器の消去が完了します。

■ パスキーを設定する

Bluetooth 機器を登録するときに使用するキーを設定します。(工場出荷時「0000」)

1 Bluetooth の設定画面 (P324) 表示中、「パスキー設定」のボタンにタップする

2 任意の“4桁のパスキー”を入力し、「決定」にタップする



パスキーの設定が完了します。

アドバイス

- すでにパスキーを設定している場合は、 にタップしてパスキーを消去してから入力してください。

■ 本機のアドレスを表示する / 編集する
本機の機器名および機器アドレスを確認します。また、機器名称のみ変更できます。

1 Bluetooth の設定画面 (P324) を表示中、「自機名称 / アドレス表示」のボタンにタップする



機器名称および機器アドレスが確認できます。

2 “機器名称”のボタンにタップする

3 任意の“機器名称”を入力し、「入力完了」にタップする



→「文字入力のしかた」(P55)

アドバイス

- 機器名称は最大半角 40 文字 (全角 20 文字) まで入力できます。

4 **編集完了** にタップする



機器名称の変更が完了します。

internavi の設定

internavi 機能に関する各設定を変更します。

■ 設定画面の表示

internavi の設定画面を表示します。

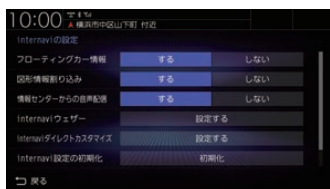
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定 / 情報** にタップする

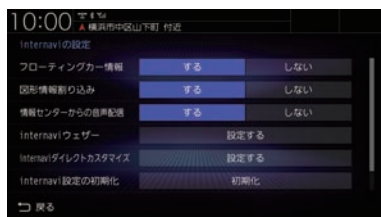
3 **internavi / 通信設定** にタップする

4 **internavi の設定** にタップする



internavi の設定画面を表示します。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
フローティングカー情報	する	フローティングカー情報の送信および取得のする/しないを設定できます。
	しない	
図形情報割り込み	する	情報受信時の割り込み表示する/しないを設定できます。
	しない	
情報センターからの音声配信	する	インターナビ交通情報に音声データがある場合、読み上げる/しないを設定できます。
	しない	
internavi ウェザー	設定する	internavi ウェザーに関する設定が行えます。 →「 <i>internavi ウェザーを設定する</i> 」(P329)
internavi ダイレクトカスタマイズ	設定する	よく使う internavi メニューの項目を internavi ダイレクトに設定できます。 →「 <i>internavi ダイレクトをカスタマイズする</i> 」(P329)
internavi 設定の初期化	初期化	internavi の設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「 <i>internavi の設定を初期化する</i> 」(P330)
システム設定	設定する	情報取得設定 (P330)、internavi 通信設定 (P286)、フレーム No 設定 (P330)、総走行距離設定 (P331) の各種設定が行えます。

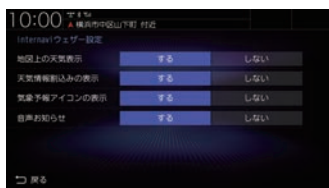
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ **internavi ウェザーを設定する**
internavi ウェザーの表示やお知らせなどの設定が行えます。

1 **internavi の設定画面 (P327) を表示する**

2 「internavi ウェザー」の
設定する にタップする

3 各項目の **する** または **しない**
にタップする



internavi ウェザーの設定が完了します。

設定できる項目について

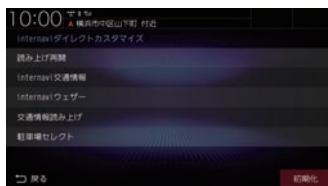
設定名	設定内容
地図上の 天気表示	気象情報取得時、地図画面に天気を表示する／しないを設定できます。
天気情報割込み の表示	気象情報取得時、割り込み表示する／しないを設定できます。
気象予報アイコン の表示	現在地画面の [internavi] ボタンに天気予報のアイコンを表示する／しないを設定できます。
音声お知らせ	気象情報に音声データがある場合、読み上げる／しないを設定できます。

■ **internavi ダイレクトをカスタマイズする**

1 **internavi の設定画面 (P327) を表示する**

2 「internavi ダイレクトカスタマイズ」の **設定する** にタップする

3 変更したい“メニュー”にタップする



4 **新たに入れたい“メニュー”に
タップする**



メニューの変更が完了します。

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、**[初期化]** にタップします。

■ internavi の設定を初期化する

1 internavi の設定画面 (P327) を表示する

2 「internavi 設定の初期化」の
初期化 にタップする

3 いずれかにタップする



4 初期化する にタップする



選んだ項目の初期化が完了します。

■ 情報取得の設定をする

配信されたインターナビ情報を自動取得する / しないを設定できます。

1 internavi の設定画面 (P327) を表示する

2 「システム設定」の 設定する にタップする

3 情報取得設定 にタップする

4 いずれかにタップする



設定が完了します。

■ フレーム No を確認する

1 internavi の設定画面 (P327) を表示する

2 「システム設定」の 設定する に
タップする



エンジンスイッチを“ON”にしている場合は、「フレーム No 設定」の右側にフレーム No が表示されます。エンジンスイッチ“ON”の状態でもフレーム No が表示されていない場合は、「フレーム No を設定する」(P330)で設定します。

フレーム No を設定する

1 「フレーム No を確認する」
(P330) の手順 2 まで操作する

2 フレーム No 設定 にタップする

3 フレーム No を入力する



4 入力完了 にタップする



フレーム No の設定が完了します。

アドバイス

- フレーム No は、会員登録時に Honda 販売店が登録した取り付け車両の車台番号です。車検証でご確認ください。
- 車種によっては、フレーム No は自動で取得します。

■ 総走行距離を設定する

総走行距離を設定できます。

お知らせ

- 車種によっては総走行距離を自動で取得、または車速から計算して表示しています。車速から計算して総走行距離を表示している場合、メーター表示の総走行距離とずれる場合がありますのでメーター表示の距離に合わせて設定してください。
- 総走行距離はインターナビの各種サービスで利用します。

1 internaviの設定画面(P327)を表示する

2 「システム設定」の **設定する** にタップする

3 **総走行距離設定** にタップする

4 総走行距離を入力する



5 **決定** にタップする



総走行距離の設定が完了します。

システム設定

本機の操作音や音声認識の設定、別売カメラの設定などが行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **システム設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

案内音・操作音の設定	操作音量の設定が行えます。 →「案内音・操作音の設定」(P333)
音声認識の設定	音声操作に関する設定が行えます。 →「音声認識の設定」(P333)
セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →「セキュリティの設定」(P335) また、セキュリティインジケータを点滅させることができます。
ハードキー動作の設定	オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。 →「ハードキー動作の設定」(P336)
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「メモリ初期化」(P338)
時計の設定	時計表示の設定が行えます。 →「時計の設定」(P339)
起動画面設定	本システム起動時のオープニング画面の設定が行えます。 →「オープニング画面を変更する」(P19)
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。 →「リアカメラの設定」(P340)
フロント・コーナーカメラの設定	フロント・コーナーカメラに関する設定が行えます。 →「フロント・コーナーカメラの設定」(P342)
マルチビューカメラの設定	マルチビューカメラに関する設定が行えます。 →「マルチビューカメラの設定」(P344)
販売店ダイアグ	販売店専用のダイアグメニューです。 販売店以外での設定変更は行わないでください。
ユーザーセットアップ	最初に設定しておきたい下記の設定メニューを順番に表示します。 「自宅を設定する」、「Bluetoothの設定」、「ビュー切替」、「案内音・操作音の設定」、「オプションボタン動作の設定」
パーキングセンサーの設定	パーキングセンサーに関する設定が行えます。 →「パーキングセンサーの設定」(P345)

案内音・操作音の設定

案内音量や操作音量の設定が行えます。

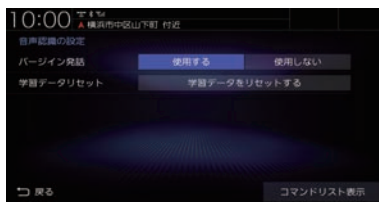


設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ~ 2 ~ 3	
案内音量	消	音声案内の音量について設定が行えます。 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ~ 4 ~ 7	
時報	鳴らす	時報を鳴らす / 鳴らさないを設定できます。
	鳴らさない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて音量を自動的に調節する / しないを設定できます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声認識の設定

音声認識 (P51) に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
バーズイン発話	使用する	音声認識後の音声ガイダンス中でも発話を受け付けて、次の操作状態に移行するかしないかの設定ができます。 →「[バーズイン発話]」(P51)
	使用しない	
学習データリセット	学習データをリセットする	タップすることで、音声認識向上のために蓄積された学習データを消去できるメニューを表示します。 →「学習データをリセットする」(P334)
コマンドリスト表示		音声認識で操作できるコマンドリストを表示します。 →「音声認識コマンドリストを確認する」(P52)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 学習データをリセットする

本機では、音声認識向上のため音声操作を行うごとに学習データが蓄積されています。
この蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・ 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、本機能を実施することで改善されることがあります。

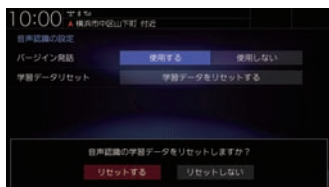
1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → システム設定 に タップする

3 音声認識の設定 にタップする

4 「学習データリセット」の 学習データをリセットする に タップする

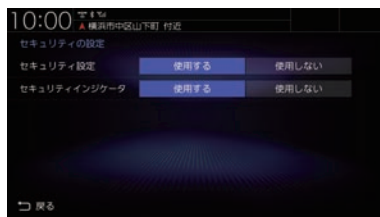


5 リセットする にタップする

蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態になります。

セキュリティの設定

盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
セキュリティ設定	使用する	セキュリティコードの入力を使用する／しないを設定できます。車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。→「セキュリティコード入力画面」(P18)
	使用しない	
セキュリティインジケータ	使用する	本機の電源をOFFにしたときに、  を点滅させるかさせないかの設定ができます。→「モニターパネルについて」(P14)
	使用しない	本機能を有効にするには、「セキュリティ設定」を[使用する]にしておく必要があります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ハードキー動作の設定

オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。



設定名	設定内容
オプションボタン動作の設定	⚙️ キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。 →「オプションボタンを設定する」(P34)
ステアリングリモコン動作の設定	車両のステアリングリモコンについて、各ボタンの機能それぞれを設定できます。 →「ステアリングリモコン動作の設定」(P336)

ステアリングリモコン動作の設定

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** → **ハードキー動作の設定** にタップする

3 **ステアリングリモコン動作の設定** にタップする

ステアリングリモコン設定画面を表示します。

4 **確認** にタップする

5 設定するステアリングリモコンキーを長押しする



6 候補一覧から“設定したい機能”にタップする



7 **完了** にタップする

ステアリングリモコンの設定が完了します。

アドバイス

- ステアリングリモコンキーを押すと、押したキーに該当する項目が青く表示されます。押しても青く表示されない項目は設定できません。
- 本機の画面表示は、実際のステアリングリモコンキーの数やイラストなどが異なる場合があります。

各ボタンに設定できる機能

ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。また、ボタンに設定した機能が動作するために、Bluetooth接続などの準備が必要な場合があります。

POWER ON/OFF	オーディオ機能のON/OFFをします。長押しすると画面を消します。
VOL +	オーディオ機能の音量を調節できます。
VOL -	
CH UP	次の曲/ファイルにスキップします。長押しすると次のフォルダーの曲を再生します。
CH DOWN	前の曲/ファイルにスキップします。長押しすると前のフォルダーの曲を再生します。
SOURCE 送り	再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。
SOURCE 戻し	[SOURCE 戻し]は[SOURCE 送り]と逆の順序でソースを切り換えます。
ミュート	オーディオ音量を消音/消音解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。長押しすると Apple CarPlay のマップを起動します。
拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
案内開始/中止	現在地の地図画面のとき、ルート案内の開始/中止をします。
自宅へ帰る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索をします。
リダイヤル	前回ハンズフリーで電話をかけた番号に発信します。
音声認識	音声認識または Apple CarPlay の Siri を起動します。
オンフック	ハンズフリーまたは Apple CarPlay で通話中のとき、電話を切ります。
オフフック	ハンズフリー電話の場合： "よくかける電話番号" (P257) から電話発信します。長押しするとリダイヤルをします。 Apple CarPlay の電話の場合： 着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消し	画面を消し黒画面にします。
N/A 画面切換	地図画面/Apple CarPlay 画面/オーディオ画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらない場合があります。

オプションボタンと同機能	オプションボタンの設定 (P34) で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
コーナーカメラ切換	
マルチビューカメラ切換	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー録画 ON/OFF	ドライブレコーダーの手動録画を開始/停止します。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影をします。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止をします。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は[割り当てなし]を選んでください。

メモリ初期化

本機の名設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注意

- 故障の原因となりますので初期化中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 初期化中はメモリーカードを抜き差ししないでください。
- メモリ初期化に失敗した場合は、エンジンスイッチを“OFF”→“ON”してシステムを再起動してください。

お知らせ

- メモリ初期化は、CDやDVDの再生中およびMusic Rackへの録音中に操作できません。

初期化の種類

設定の初期化	本機の名設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
Music Rackの初期化	Music Rackに関するデータをすべて消去します。Music Rackで録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
SDカードの初期化	SDカードの音楽ファイルやMusic Rackを本機で再生するために必要なフォーマットを行います。 また、SDカードの音楽ファイルやMusic Rackで録音した曲を含むSDカード内にあるすべてのデータを消去します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。 また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → システム設定 にタップする

3 メモリ初期化 にタップする

4 いずれかにタップする



5 初期化する にタップする

6 再度、初期化する にタップする



選んだ項目の初期化が完了します。

時計の設定

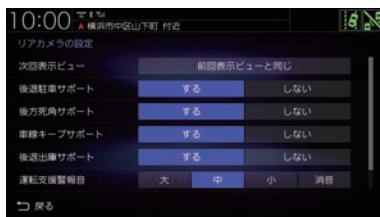


設定名	設定値	設定内容
時計表示	する	時計の表示する / しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

リアカメラの設定

リアカメラに関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
次回表示ビュー		次回表示したときに表示されるビューを設定できます。 →「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P341)
後退駐車サポート	する	後退駐車サポート機能を使う / 使わないを設定できます。 →「後退駐車サポート」(P269)
	しない	
後方死角サポート	する	後方死角サポート機能を使う / 使わないを設定できます。 →「後方死角サポート」(P267)
	しない	
車線キープサポート	する	車線キープサポート機能を使う / 使わないを設定できます。 →「車線キープサポート」(P267)
	しない	
後退出庫サポート	する	後退出庫サポート機能を使う / 使わないを設定できます。 →「後退出庫サポート」(P266)
	しない	
運転支援警報音	大	後方死角サポート、車線キープサポート、後退出庫サポートの警告音の音量を設定できます。
	中	
	小	
	消音	
ガイドライン表示	する	リアカメラに表示するガイドラインの表示する / しないを設定できます。
	しない	
ダイナミックガイドライン表示	する	リアカメラに表示するダイナミックガイドラインの表示する / しないを設定できます。 車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ リアカメラの次回表示ビューを設定する

お知らせ

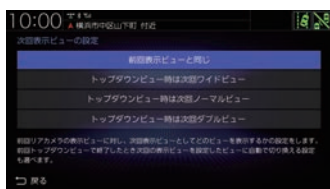
- 前回のリアカメラ映像（ラスト画面）がトップダウンビューの場合に設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** → **リアカメラの設定** にタップする

3 **次回表示ビュー** にタップする

4 次回表示したい“ビュー”にタップする



次回表示ビューの設定が完了します。

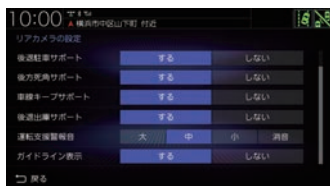
■ ガイドラインを表示する

リアカメラに表示するガイドラインを表示します。

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

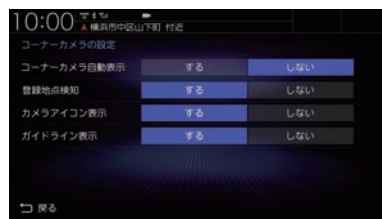
2 **システム設定** → **リアカメラの設定** にタップする

3 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の **する** にタップする



リアカメラ映像にガイドラインを表示します。

フロント・コーナーカメラの設定



設定名	設定値	設定内容
フロントカメラ/ コーナーカメラ 自動表示	する	車が低速走行になったとき、自動的にカメラ映像を表示する/しないを設定できます。
	しない	フロントカメラ接続時は「フロントカメラ自動表示」と表示し、コーナーカメラ接続時は「コーナーカメラ自動表示」と表示します。
登録地点検知	する	カメラ地点（カメラ映像の自動切替設定がされている登録地点）に近づいたときに、自動的にカメラ映像を表示する/しないを設定できます。→「登録地点の種別」(P115)
	しない	
カメラアイコン表示	する	カメラアイコンの表示する/しないを設定できます。
	しない	アイコンが白色：一定以下の速度でカメラを自動表示します。 アイコンが灰色：カメラを自動表示しません。
ガイドライン表示	する	コーナーカメラに表示するガイドラインの表示する/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

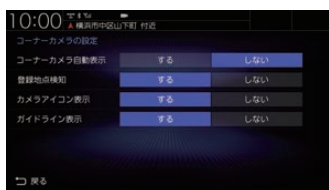
■ ガイドラインを表示する

コーナーカメラにガイドラインを表示します。
フロントカメラにはガイドラインを表示できません。

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報**
にタップする

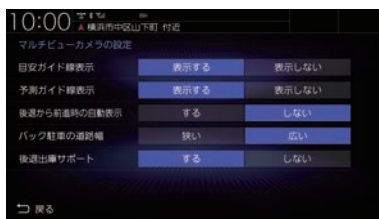
2 **システム設定** →
コーナーカメラの設定 にタップする

3 「ガイドライン表示」の **する** に
タップする



▼
コーナーカメラ映像にガイドラインを表示します。

マルチビューカメラの設定



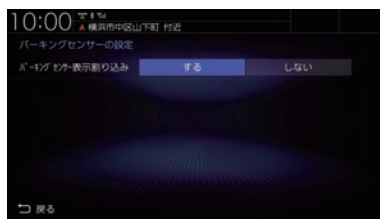
設定名	設定値	設定内容
目安ガイド線表示	表示する	目安ガイド線の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
予測ガイド線表示	表示する	予測ガイド線の表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
後退から前進時の自動表示	する	セレクトレバーをリバースからリバース以外に入れたときに、マルチビューカメラの映像を継続して表示する / しないを設定できます。
	しない	
バック駐車時の道路幅	狭い	バック駐車モードの道路幅を設定できます。(Honda スマートパーキングアシストシステム)
	広い	
後退出庫サポート	する	後退出庫サポート機能を使用する / しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

お知らせ

- マルチビューカメラシステム、Honda スマートパーキングアシストシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

パーキングセンサーの設定



設定名	設定値	設定内容
パーキングセンサー 表示割り込み	する	カメラ映像以外の画面で、障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面の割り込み表示をする / しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

Apple CarPlay 連携機能設定



設定名	設定値	設定内容
Apple CarPlay 利用設定	有効	Apple CarPlay 対応の iPhone を USB 接続したときに、Apple CarPlay として利用する / 利用しないを設定できます。 [無効]に設定すると、iPod 再生機能が利用できる状態になります。
	無効	

ドライブレコーダーの設定

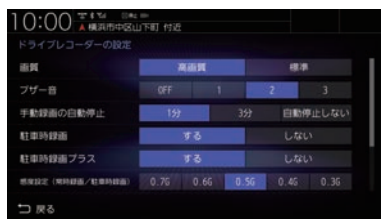
ドライブレコーダーに関する設定が行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** → **設定** に
タップする。



ドライブレコーダーの設定画面を表示します。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
画質	高画質	録画画質を設定できます。
	標準	
ブザー音	OFF	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
手動録画の自動停止	1分	手動録画を開始後、自動停止する時間を設定できます。また、自動停止しないように設定することもできます。[自動停止しない]に設定した場合、手動録画の最大保存ファイル数になった時点で録画終了します。
	3分	
	自動停止しない	
駐車時録画	する	エンジンスイッチをOFF後、一定時間録画し続けるかを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス	する	「駐車時録画」の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃検知で録画を開始する/しないを設定できます。
	しない	
感度設定 (常時録画/ 駐車時録画)	0.7G	ドライブレコーダーの衝撃検知 (Gセンサー) の感度を設定できます。 感度を高く (数値を低く) 設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	0.6G	
	0.5G	
	0.4G	
	0.3G	
感度設定 (駐車時録画プラス)	0.6G	ドライブレコーダーの衝撃検知 (Gセンサー) の感度を設定できます。 感度を高く (数値を低く) 設定するほど敏感になり小さな衝撃でも、録画を開始します。
	0.5G	
	0.4G	
	0.3G	
	0.2G	
SDカードのフォーマット	フォーマットする	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。
設定初期化	初期化する	ドライブレコーダーの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

TV の設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

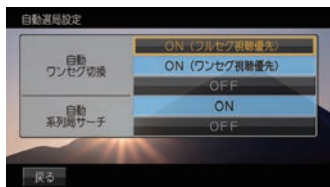
- 1 AUDIO メニューを表示する
(→P131)
- 2 TV にタップする
- 3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 4 メニュー にタップする
- 5 設定したい“項目”にタップする



- 6 設定したい“内容”にタップする



- 7 “設定”にタップする



設定内容を変更します。

■ 設定項目について

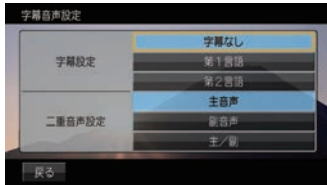
視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →「 視聴設定 」(P349)
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。 →「 情報を確認する 」(P227)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。 →「 受信機設定 」(P349)
初期設定	CHスキャンのやり直しや、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 →「 初期設定を行う 」(P351)

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第1言語	
	第2言語	
二重音声設定	主音声	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主/副	

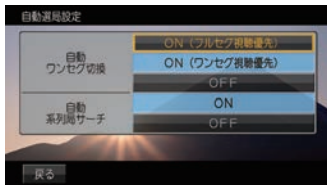
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定が行えます。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P229)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。 →「系列局を探す」(P223)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。時刻を表示させたい場合は、ショートバナーを[表示する]に設定してください。



設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の左上にショートバナー（チャンネル番号や放送局名、時刻などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組表 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。



設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切換	メインサービス	[全サービス]に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

CHスキャンのやり直しやアンテナモードの変更、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ CHスキャンを行う

CHスキャンのやり直しや更新を行います。
詳しくは「好みの放送局を登録する」(P146)をご覧ください。

■ アンテナモードを変更する

アンテナを4本装着時のアンテナ動作を設定します。

1 AUDIOメニューを表示する
(→P131)

2 TV にタップする

3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタップする

5 初期設定 にタップする

6 アンテナモード にタップする

7 機能重視モード または
性能重視モード にタップする

機能重視モード	アンテナ3本でテレビ放送を受信し、1本は常にサーチを行います。
性能重視モード	アンテナ4本すべてでテレビ放送を受信します。

アンテナモードの設定が完了します。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタルTVチューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 AUDIOメニューを表示する
(→P131)

2 TV にタップする

3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタップする

5 初期設定 にタップする

6 設定情報初期化 にタップする

7 初期化開始 にタップする

8 はい にタップする

初期化が完了すると初期設定画面を表示します。

注意

- 初期化が完了するまでエンジンスイッチを“OFF”にしないでください。

その他の設定

モニターの画質や画面表示に関する設定が行えます。

画質を調整する

各画面の画質を調整できます。

お知らせ

- リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。

1 調整したい画面を表示させて、 **MENU** キーを長押しする



画質調整のメニューを表示します。

調整する画面によっては、調整項目が異なります。

お知らせ

- 各カメラ映像とオーディオソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。一部、調整結果が互いに連動する画面があります。
- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときで別々に設定できます。
- 走行中は調整できません。

■ RGB 画面の調整

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、 [-]にタップすると、暗くなります。 ロングタップ (P26) すると、 連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整 を行います。[+]にタップすると コントラストが強くなり、[-]に タップすると、弱くなります。ロ ングタップ (P26) すると、連続 で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが 弱くなり、[黒]にタップすると濃 くなります。ロングタップ (P26) すると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

テレビ画面やDVD画面、動画再生画面などの
明るさや色合いなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、 [-]にタップすると、暗くなります。 ロングタップ (P26) すると、 連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整 を行います。[+]にタップすると コントラストが強くなり、[-]に タップすると、弱くなります。ロ ングタップ (P26) すると、連続 で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが 弱くなり、[黒]にタップすると濃 くなります。ロングタップ (P26) すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタップすると緑っぽくな り、[赤]にタップすると赤っぽく なります。ロングタップ (P26) すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタップすると色が濃くなり 、[-]にタップすると薄くなり ます。ロングタップ (P26) する と、連続で調整できます。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。音声はそのまま聞くことができます。

1 キーを長押しする



画面の表示を消します。
再度表示するときは、画面にタップするか
[MENU] または [現在地]、[AUDIO] のいずれ
かのキーを押します。

お知らせ

- リアカメラやマルチビューカメラが接続されている場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し（黒画面）中でも、カメラ映像に自動で切り換わります。セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態（黒画面）に戻ります。
- リアカメラやマルチビューカメラ映像を表示している場合は、 キーを長押ししても画面表示を消すことはできません。

Other

困ったときは、用語解説、用語索引などの参考情報を記載しています。

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車またはカーソルの中心が、設定している縮尺の地図情報がない場所に移動した。または、再びある場所に移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。		
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
入力されたマップコードはデータにありません。	入力した MAPCODE の該当地点がなかった。	MAPCODE を再度確認してください。
通信中のため回線接続できません。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている場合は、情報を取得できません。 通信が終わってから再度取得してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P133)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。 しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため再生できません。	本機の内部温度が低い。	
この iPod は再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod (P9) を使用してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	対応するソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB メモリは再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイルについて」(P136)
	曲が入っていない iPod/USB デバイスを接続した。	曲が入った iPod/USB デバイスを接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
このディスクの映像方式 (PAL) には対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。 数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。
この SD カードは使用できません。	SD カードの読み込みに失敗した。	SD カードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。 →「SD カードの曲を聴く」(P171)

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
SDカードに書き込みできません。 SDカードを確認してください。	SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	SDカードの容量がいっぱいになったため、Music Rackに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 →「プレイリストを消去する」(P188)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。 別のSDカードに交換してください。
CD録音中のため、SD内のビデオは再生できません。	Music Rackに録音中。	録音が終わってからSDカードの動画をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
放送局が登録されていません。 ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホームCHスキャンを行う」(P224)
放送局が登録されていません ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P225)
受信制御データが設定されていません。 しばらくお待ちください(最大で30秒かかる場合があります) コードEC21	放送局から受信するための情報が取得できていない。	初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は映像表示するまでにしばらく時間がかかります。 受信するための情報が取得できるまでしばらくお待ちください。

■ カメラ機能

メッセージ	原因	処置
チェックシステム	エンジンスイッチを“アクセサリー”のままにしている。アクセサリーの状態では後退出庫サポート機能が起動しないためメッセージが表示されます。	エンジンスイッチを“ON”にしてください。 メッセージが消えます。

■ ETC 機能

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器が未接続のため表示できません。	ETC車載器が接続されていない。 ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が切れる2か月前から案内します。 有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。

■ ドライブレコーダー機能

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を本機に接続したとき、ドライブレコーダーの状態によって表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体にSDカードが正しく挿入されていない、または未挿入。	SDカードを正しく挿入してください。
保存フォルダへ移動できませんでした。 ドライブレコーダーのSDカード内の不要な動画を削除してください。	ドライブレコーダーに挿入されているSDカードの容量がいっぱいになっている。	保存フォルダ内の不要な動画を削除してください。保存フォルダ内には20ファイルまで移動できます。 →「録画データを消去する」(P278)
SDカードのフォーマットができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	何らかの異常があった。	再度、フォーマットしてください。それでもフォーマットができない場合は、販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします。	SDカードの書き換え寿命が近づいている。	SDカードには寿命があります。新しい付属の純正SDカードに交換してください。
このファイルは対応していないファイルのため、再生できません。	再生するファイルが、本ドライブレコーダーで撮影したファイルではない。	本ドライブレコーダーで対応していないファイルがあるため、非対応のファイルを削除してください。またはフォーマットしてからお使いください。
SDカードが取り出されました。ファイルが壊れる可能性がありますのでSDカードを抜く場合は取出しボタンを押してから取り出してください。	[SDカードの取り出し]ボタンを押さずに、SDカードを取り出した。	ファイルが壊れる可能性があるため、「SDカードを取り出す」(P279)の操作を行ってから取り出してください。
純正でないSDカードが挿入されています。 純正SDカードをご使用ください。	純正以外のSDカードを挿入した。	必ず付属の純正SDカードをご使用ください。または、Honda販売店で本ドライブレコーダー専用のSDカードをお買い求めください。

■ インターナビ機能

メッセージ	原因	処置
接続に失敗しました。	通信に何らかの異常があった。	再度、接続してください。
	通信中に通信圏外へ移動した。	通信圏内へ移動してください。
接続できませんでした。暗証番号を再度お確かめください。	会員ID(フレームNo)が正しく設定されていない。	会員IDと同じかどうかフレームNoを確認してください。 →「フレームNoを確認する」(P330)
	カーナビ用パスワード(暗証番号)を間違えている。	「登録完了のご案内」に記載されているカーナビ用パスワード(暗証番号)を確認して再度入力してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

問題が解決しないときは、「保証とアフターサービス」(P384)をお読みになり修理を依頼してください。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「操作音量」を[1～3]に設定してください。 →「システム設定」(P332)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除(P353)の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →「画質を調整する」(P352)
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定]で「昼夜色」を[昼固定]に設定すると、常時明るい設定になります。 →「NAVI設定」(P301)
	昼夜切換により画面の明るさが「夜用」になっている。	昼夜切換を「昼用」に切り換えるか、ILL操作により昼夜切換モードを解除してください。 →「オプションボタンを設定する」(P34) →「QUICKメニュー」(P34) →「ステアリングリモコン動作の設定」(P336)
通話相手に自分の声が聞こえない。	ミュート設定になっている。	ミュート設定をOFFにしてください。 (通話画面の右下にミュート設定ボタンがあります) →「音量を調整する」(P259)
電話帳の表示が携帯電話と異なる。	携帯電話から送られてくる情報によっては情報が正しく表示されない場合があります。 電話帳画面の[同期しない]→[同期する]と切り換えると正しく表示される場合があります。→「電話帳や履歴を同期する」(P253)	
Bluetooth機器の登録ができない。	機器によっては登録できない場合があります。 動作確認済みの機種は弊社のホームページに掲載しています。	
HDMIでスマートフォンとの接続のしかたが分からない。	別売のHDMI接続コードが必要です。車両によっては標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続します。なお、HDMI端子はスマートフォンの外部モニターとして使用できるものであり、ナビ画面でのタッチパネル操作はできません。接続可能機種については弊社のホームページをご覧ください。	
本機の近くにある車両スイッチなどの操作音がリアスピーカーから出力される。	後席会話サポート機能により、操作音がリアスピーカーから出力されている。	音量を下げる、または機能を停止してください。

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	人工衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
	走行中、一部の地図が表示されない。	詳細な地図を表示しているときに速い速度で移動すると、一部の地図が表示できない場合があります。 地図の縮尺を広域に変更することで、改善する場合があります。
渋滞線/アイコン類が表示されない。	自車移動や縮尺変更、地図向き変更などで改善する場合があります。	
探索完了画面でルートの表示が点滅する。	ルート探索完了ごとに再表示するため点滅することがありますが、故障ではありません。	
道路の表示が途切れる。	地図の縮尺を広域にしていくと国道や高速道路など主要道路以外の道路データを間引くため、道路の表示が途切れることがあります。 必要に応じて地図の縮尺を詳細にいただくことで改善します。	
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをアクセサリまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「案内音量」を[1～7]に設定してください。 →「システム設定」(P332) インターネット案内は音声案内中に本機の[VOL]キーまたはステアリングリモコンの音量調節ボタン(P28)で設定してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
ルート探索を繰り返す。	Music Rackに録音中は探索が遅くなるため、ルート探索完了時にはすでに案内点を過ぎている場合があります。 録音を停止することで改善する場合があります。	
突然ルートが変わる。	「ルート自動更新」を[使用する]にしていると、最適なルートが見つかった段階で案内を開始するため、直前でルートが変わる場合があります。 →「探索の設定」(P305)	
VICS 情報が受信できない。	VICS 情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。
	本機にラジオアンテナ(車両側のAM/FM用アンテナプラグ)が正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
ETC2.0の機能で、受信していない情報が表示される。	一定の条件を満たした情報のみ自動的に表示します。 手動で表示するとすべての情報を表示できますので、自動表示されていない情報が表示される場合があります。	
料金表示が実際と異なる。	各種割り引き表示には対応しておりません。 また、ルートによっては料金が異なる場合があります。	

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がない/ 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス/フェーダーが 片寄っている。	バランス/フェーダーを調整してください。 →「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P311)
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 →「オーディオ機能がOFFのとき」(P132)
ラジオの受信感が悪い。	アンテナが格納されている。	アンテナを立ててください。
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
作成したディスクが再生できない。	ディスク作成時の設定がディスクアットワンスになっているかご確認ください。ディスクアットワンス以外の場合は再生できないまたは音飛びする場合があります。	
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスによっては再生できない場合があります。 USB デバイスを一度取り外し、再度接続してください。 それでも認識しない場合は本機でご使用にならないUSB デバイスです。	
再生できないファイルがある。	ファイルによっては再生できないものがあります。 対応ファイルフォーマットを確認してください。	
音楽再生が途中で途切れる。	CDの挿入後「録音する」をタップするとSDカードに録音しながらの再生(追いかけて再生)が始まります。 このように同時に録音と再生を行っている場合、音楽再生が途中で数秒間途切れることがあります。 録音をしていなければ音楽再生が途切れることはありません。	
録音できない。	何らかの原因でSDカードにアクセスできない可能性がありますので、SDカードを取り出し、再度挿入してください。 または、SDカードに記録されているデータが破損している可能性があります。データが破損していると、録音や再生、編集ができません。 この場合、データの復旧ができないためSDカードを本機で初期化してください。	
Music Rackの再生ができない。		
Music Rackの編集ができない。		
AVRCPのバージョンに対応しているがデバイス側の操作ができない。	機器によっては操作できない機能があります。	
Bluetooth Audio 再生時、正しい情報が表示されない。	機器によっては表示するための情報を取得できないものがあります。	
iPod が正しく動作しない。	バッテリーの残量が少ない状態で接続すると、iPod 起動時に正しく動作しない場合があります。	
曲が送り続けられる。	SDカードが読めなくなった。	SDカードを一度抜き取り、再度挿入してください。

■ テレビ機能

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
TV放送が映らない。 映像が乱れる。	TV放送の放送エリア内ではない。 専用アンテナを使用していない。	TV放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。 専用アンテナをご使用ください。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときには、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタルTV放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得 (P221) をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	TV放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が[字幕なし]に設定されている。 見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	[視聴設定]の「字幕設定」で[第1言語]または[第2言語]に設定してください。 →「TVの設定」(P348) 字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はロングバナーにアイコンが表示されます。 →「記号について」(P220)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P229)

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート

(設定した目的地や経由地は保持されます。)

お知らせ

- セキュリティの設定を[使用する]にしている場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。→「セキュリティコード入力画面」(P18)

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

細街路

道幅の狭い一部の道路。縮尺100m以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図 (→P67)

縮尺10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自転車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC

スマートIC (スマートインターチェンジ) は、ETC車載器またはETC2.0車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自車が走ってきた道に印(点線)がつけます。この印(点線)を走行軌跡と言います。

測位

人工衛星からの電波を受信して、その情報を元に自車の位置を割り出すことを言います。

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク (→P48)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

Apple CarPlay (→P37)

本機と Apple CarPlay 対応の iPhone を接続することで、本機のディスプレイから直接 iPhone 操作できるようになります。行き方を調べる。電話をかける。メッセージを送受信する。音楽を聴く。などの操作ができます。

ETC2.0 (→P246)

ETC2.0は従来のETCの機能であるノンストップ自動料金収受システムに加え、渋滞回避や安全運転支援サービスなどの総称です。

GNSS

GNSSは、Global Navigation Satellite System (全地球測位システム) の略称です。米国が開発運用している衛星「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS (グロナス)」やヨーロッパの「GALILEO (ガリレオ)」など複数の衛星を用いて、全地球を測位することができる衛星システムのことです。

GPS (→P42)

GPSは、Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回しているGPS衛星から地上に放射される電波を受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

次のページにつづく

VICS (ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム) の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3Dリアルジャンクション (→P65)

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけて再生

音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。
その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

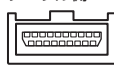
Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

HDMI (Eタイプ) (→P238)

本機側



ケーブル側



HDMIの車載用タイプコネクター。

本機は、HDMIのEタイプコネクターのため、家庭用で販売されているHDMIケーブルと接続できません。別売のHDMI接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI接続コードの代わりに標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続する場合があります。

ID3タグ (→P138)

MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにし、ファイルとして格納しています。

Music Rack (→P183)

挿入した音楽CDの曲を、SDカードに録音する機能です。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード(→P318)

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。

※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに **16:9 LB** と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

DTS Digital Surround

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることが出来る放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

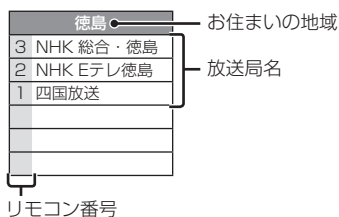
EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

TV放送のチャンネル一覧表

- ホームCHスキャン(P215,P224)で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下のようになります。(2018年5月現在)他の地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広
	2 NHK Eテレ札幌	2 NHK Eテレ函館	2 NHK Eテレ旭川	2 NHK Eテレ帯広
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広

お住まいの地域	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)	青森
チャンネル名	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭	3 NHK 総合・青森
	2 NHK Eテレ釧路	2 NHK Eテレ北見	2 NHK Eテレ室蘭	2 NHK Eテレ青森
	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭	1 RAB青森放送
	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭	6 ATV青森テレビ
	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭	5 青森朝日放送
	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭	
	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭	

お住まいの地域	岩手	秋田	宮城	山形
チャンネル名	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・秋田	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・山形
	2 NHK Eテレ盛岡	2 NHK Eテレ秋田	2 NHK Eテレ仙台	2 NHK Eテレ山形
	6 IBCテレビ	4 ABS秋田放送	1 TBCテレビ	4 YBC山形放送
	4 テレビ岩手	8 AKT秋田テレビ	8 仙台放送	5 YTS山形テレビ
	8 めんこいテレビ	5 AAB秋田朝日放送	4 ミヤギテレビ	6 テレビユー山形
	5 岩手朝日テレビ		5 KHB東日本放送	8 さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島	茨城	東京	千葉
チャンネル名	1 NHK 総合・福島	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK Eテレ福島	2 NHK Eテレ東京	2 NHK Eテレ東京	2 NHK Eテレ東京
	8 福島テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	4 福島中央テレビ	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	5 KFB福島放送	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
		7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
		12 放送大学	9 TOKYO MX	3 チバテレビ
			12 放送大学	12 放送大学

次のページにつづく

お住まいの地域	埼玉		群馬		栃木		神奈川	
チャンネル名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・前橋	1	NHK 総合・宇都宮	1	NHK 総合・東京
	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	3	テレ玉	3	群馬テレビ	3	とちぎテレビ	3	tvk
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学

お住まいの地域	山梨		新潟		富山		石川	
チャンネル名	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・新潟	3	NHK 総合・富山	1	NHK 総合・金沢
	2	NHK Eテレ甲府	2	NHK Eテレ新潟	2	NHK Eテレ富山	2	NHK Eテレ金沢
	4	YBS山梨放送	6	BSN	1	KNB北日本放送	4	テレビ金沢
	6	UTY	8	NST	8	BBT富山テレビ	5	北陸朝日放送
			4	TeNY	6	チューリップテレビ	6	MRO
			5	新潟テレビ21			8	石川テレビ

お住まいの地域	福井		長野		静岡		愛知	
チャンネル名	1	NHK 総合・福井	1	NHK 総合・長野	1	NHK 総合・静岡	3	NHK 総合・名古屋
	2	NHK Eテレ福井	2	NHK Eテレ長野	2	NHK Eテレ静岡	2	NHK Eテレ名古屋
	7	FBC	4	テレビ信州	6	SBS	1	東海テレビ
	8	福井テレビ	5	abn長野朝日放送	8	テレビ静岡	5	CBCテレビ
			6	SBC信越放送	4	Daiichi-TV	6	メ〜テレ
			8	NBS長野放送	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ
							10	テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜		三重		大阪		滋賀	
チャンネル名	3	NHK 総合・岐阜	3	NHK 総合・津	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・大津
	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	5	CBCテレビ	5	CBCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
		ぎふチャン	7	三重テレビ	7	テレビ大阪	3	BBCびわ湖放送

お住まいの地域	京都		和歌山		奈良		兵庫	
チャンネル名	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良	1	NHK 総合・神戸
	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	5	KBS京都	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ	3	サンテレビ

お住まいの地域	広島		鳥取		島根		山口	
チャンネル名	1	NHK 総合・広島	3	NHK 総合・鳥取	3	NHK 総合・松江	1	NHK 総合・山口
	2	NHK Eテレ広島	2	NHK Eテレ鳥取	2	NHK Eテレ松江	2	NHK Eテレ山口
	3	RCCテレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY山口放送
	4	広島テレビ	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	tysテレビ山口
	5	広島ホームテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab山口朝日
	8	TSS						

お住まいの地域	岡山		香川		徳島		高知	
チャンネル名	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知
	2	NHK Eテレ岡山	2	NHK Eテレ高松	2	NHK Eテレ徳島	2	NHK Eテレ高知
	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	1	四国放送	4	高知放送
	5	KSB瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送			6	テレビ高知
	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ			8	さんさんテレビ
	7	TSCテレビせとうち	7	TSCテレビせとうち				
	8	OHKテレビ	8	OHKテレビ				

お住まいの地域	愛媛		福岡		佐賀		長崎	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・長崎
	2	NHK Eテレ松山	3	NHK 総合・北九州	2	NHK Eテレ佐賀	2	NHK Eテレ長崎
	4	南海放送	2	NHK Eテレ福岡	3	STS サガテレビ	3	NBC長崎放送
	5	愛媛朝日	2	NHK Eテレ北九州			8	KTN テレビ長崎
	6	あいテレビ	1	KBC九州朝日放送			5	NCC長崎文化放送
	8	テレビ愛媛	4	RKB毎日放送			4	NIB長崎国際テレビ
			5	FBS福岡放送				
			7	TVQ九州放送				
			8	TNCテレビ西日本				

お住まいの地域	熊本		大分		宮崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・宮崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHK Eテレ熊本	2	NHK Eテレ大分	2	NHK Eテレ宮崎	2	NHK Eテレ鹿児島
	3	RKK熊本放送	3	OBS大分放送	6	MRT宮崎放送	1	MBC南日本放送
	8	TKUテレビ熊本	4	TOSテレビ大分	3	UMKテレビ宮崎	8	KTS鹿児島テレビ
	4	KKTくまもと県民	5	OAB大分朝日放送			5	KKB鹿児島放送
	5	KAB熊本朝日放送					4	KYT鹿児島読売TV

お住まいの地域	沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・沖縄
	2	NHKEテレ沖縄
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ (OTV)

別売品（システムアップ）について

お知らせ

- ・ 各別売品は車両標準装備の場合があります。車両によって詳細仕様が異なる場合があります。
- ・ 本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

ETC車載器（ナビ連動タイプ）	—
リアカメラ/リアワイドカメラ	—
フロントカメラ	—
コーナercamera（2ビュー）	—
マルチビューカメラ	—
USB接続ジャック	iPod/USBメモリーを再生する場合に必要です。
地上デジタルテレビ放送用 フィルムアンテナ	地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。
リア席モニター	—
USBメモリーデバイスコード	—
HDMI接続コード	市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。
AUX接続コード	市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。
オーディオリモコンスイッチ	—
ETC2.0車載器	—
ドライブレコーダー（ナビ連動 タイプ）	—
リアカメラdeあんしんプラス	—
リアカメラdeあんしんプラス （ダブルビュー機能付き）	—
パーキングセンサー	—

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

ZLib

OpenGL ES 2.0

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

unicode

Copyright © 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

PowerVR

Copyright © Imagination Technologies Limited.

OpenVG

Copyright © 2008 The Khronos Group Inc.

Bitmap Font Generator

BASIC BMFont example implementation with Kerning, for C++ and OpenGL 2.0

This is free and unencumbered software released into the public domain.

Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute this software, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

In jurisdictions that recognize copyright laws, the author or authors of this software dedicate any and all copyright interest in the software to the public domain.

We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this software under copyright law.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For more information, please refer to
<<http://unlicense.org/>>

These editors can be used to generate BMFonts:

- <http://www.angelcode.com/products/bmfont/> (free, windows)
- <http://glyphdesigner.71squared.com/> (commercial, mac os x)
- <http://www.n4te.com/hiero/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)
- <http://slick.cokeandcode.com/demos/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)

Some code below based on code snippets from this gamedev posting:

<http://www.gamedev.net/topic/330742-quick-tutorial-variable-width-bitmap-fonts/>

Although I'm giving this away, I'd appreciate an email with fixes or better code!

aaedev@gmail.com 2012

LZ4

LZ4 - Fast LZ compression algorithm
Copyright © 2011-2014, Yann Collet.
BSD 2-Clause License (<http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.php>)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

libSVM

Copyright © 2000-2014 Chih-Chung Chang and Chih-Jen Lin All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither name of copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenBLAS

Copyright © 2011-2014, The OpenBLAS Project All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the OpenBLAS project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ:copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴ、Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。

また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000-present Gracenote.

地図記号について

※ 以下に説明する地図記号は本書作成時の情報にもとづいて記載しております。

本書に記載していない地図記号や表示されなくなった地図記号がある場合があります。

● 道路・その他

 [青色] 高速道路 / 都市高速 / 有料道路

 [赤色] 一般国道

 [緑色] 主要地方道

 [橙色] 一般都道府県道

 [灰色] その他の道路

 [水色] 水域

 都道府県界

 JR (市街地地図以外)

 JR (市街地地図のみ)・私鉄

※ 地図色は、ライト、ダーク、ユニバーサルデザインの3種類の設定があります。本記載の道路色は、ライト設定時の一例となります。

● 一般記号

 一般国道

 主要地方道

 インターチェンジ

 サービスエリア

 パーキング

 ジャンクション

 料金所

 ランプ

 スマートインターチェンジ

 都道府県庁

 市役所

 区役所

 役場・支所・出張所

 その他施設

 空港

 フェリーターミナル

 道の駅

 公園

 遊園地

 その他娯楽施設他

 動物園

 水族館

 植物園

 温泉

 サーキット場

 競輪・競馬・競艇場

 美術館

 博物館

 ホール・劇場・文化会館

 イベントホール

 城跡

 史跡・名勝

 神社

 寺院

 教会

 タワー・展望台

 灯台

 港湾

 山岳

 野球場

 陸上競技場等のスポーツ施設

 ゴルフ場

 スキー場

 キャンプ場

 海水浴場

 プール

 テニスコート

 ボウリング場

 ヨットハーバー・マリーナ

 牧場

 宿泊施設

 百貨店

 店舗

 ショッピングセンター

 飲食店

 ファーストフード

 ガソリンスタンド

 駐車場

 学校

 幼稚園

 保育園

 自動車学校

 病院

 警察署

 消防署

 郵便局

 その他の公共施設

 銀行

 NTT

 自衛隊

 米軍

 墓地

 工場

 発電所

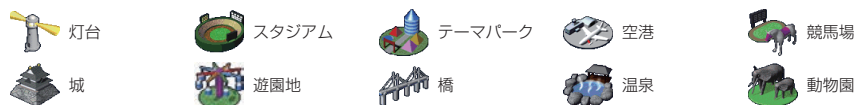
 都道府県営・市営団地

 ビル

 トンネル

 信号機

● 主な施設



● 季節情報



● サービスエリア・パーキングエリア情報



地図データについて

地図データベースについて

この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会の「全国デジタル道路地図データベース」、インクリメントP(株)の地図情報をもとに、三菱電機(株)が2018年3月現在までの情報を網羅し作成したものです。なお、元図の作成時期などの関係から、収録されていない新設道路があったり、地名や道路などに変更や誤りがある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- いかなる形式においても著作者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平26情使、第74号-12号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平27情使、第199号-12号)
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 04-0080) [2017年9月発行データ使用]
- この地図に使用している交通規制データは、2017年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 渋滞予測情報の元となる道路交通情報データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)の技術が用いられています。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 250m メッシュ(標高)を使用したものです。(承認番号 平7総使、第178号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第308号-12号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。(承認番号 平28情使、第1121号-12号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1122号-12号)
- この地図に使用している電話番号データは、2017年9月現在のものです。本データはNTTタウンページ(株)から提供されたタウンページデータを使用しています。
- この地図に使用している個人宅の電話番号は、日本ソフト販売(株)のハローページデータを使用しています。
- VICS リンクデータベースは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)から提供される技術情報です。
- その他情報提供元
監修: 夜景愛好家 縄手真人(夜景コメント)
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL: http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018_1.pdf
© 2017-2018 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2018 INCREMENT P CORPORATION
© 2018 三菱電機株式会社

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができますものとしてします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- (1) 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- (2) 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- (2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz(GPS) 1598.0625 ～ 1605.375MHz(GLONASS)
受信方式		パラレル18チャンネル
受信感度		-130dBm以下
測位更新時間		約1秒
メディア容量		16GB (フラッシュメモリー)
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	20バンドイコライザー	22/31.5/44/63/87/125/175/250/350/500/700/1k/1.4k/2k/2.8k/4k/5.6k/8k/11k/16k Hz 調整幅レベル：±12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW ^{*1} 、CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) ※1) VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	20Hz ～ 20,000Hz (CD-DA)
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM：76.0 ～ 99.0MHz AM：522 ～ 1629kHz
	実用感度	FM：10dB μV、AM:33dB μV
	S/N比	FM：55dB(20kHz L.P.F.使用)、AM：50dB(20kHz L.P.F.使用)
	ステレオセパレーション	FM：30dB (20kHz L.P.F.使用)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本) ワンセグ/フルセグ
	受信チャンネル	13 ～ 52ch
	アンテナ	専用アンテナ
Music Rack部	形式	SD-Audio 規格
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
SDカード部	対応容量	最大2TB (推奨128GBまで) (SDXC 規格対応/CPRM 対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下

GPS アンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ
モニター		
画面サイズ		10インチモデル : 223.68 × 125.82mm 9インチモデル : 198.72 × 111.78mm 8インチモデル : 176.64 × 99.36mm
タッチパネル		静電容量式 (Mutual 方式) タッチパネル
外部接続		
外部入力	Audio 機器など (2ch)	音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)
	HDMI 機器など (1 系統)	HDMI 規格による
リア席モニター出力	アナログ 1 系統	映像 : NTSC 1.0Vp-p
	デジタル出力 1 系統	映像 : 専用インターフェースによる
カメラ入力 2 系統		映像 : NTSC 1.0Vp-p
ドライブレコーダー入力		音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)
		映像 : NTSC 1.0Vp-p
専用SDカード		
容量		8GB
スピードクラス		Class4
電源・寸法・質量		
使用電源		DC13.2V (マイナスアース)
最大消費電流		MAX15A
動作温度		-30℃ ~ +70℃
外形寸法	10インチモデル	: 約 幅 409.3 × 高さ 211.6 × 奥行き 187.7mm
	9インチモデル	: 約 幅 228 × 高さ 144.3 × 奥行き 185.3mm
	8インチモデル	: 約 幅 206 × 高さ 130.8 × 奥行き 187mm
質量 (本体のみ)	10インチモデル	: 約 3.2kg
	9インチモデル	: 約 2.7kg
	8インチモデル	: 約 2.6kg

- ・ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入＜販売店印＞＜お買い上げ日＞および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めのHonda 販売店へご相談ください。

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	352
アフターサービス	384
アングル	166
案内音・操作音の設定	333
案内開始	77,94
イコライザー	313
緯度・経度	88
色合い	352
色の濃さ	352
インターナビ機能	282
インターナビ交通情報	117,290
迂回ルート	107
映像	231
映像情報	218
エリア	217,219
エリアCH	368
追いかけて再生	366
オーディオ機能	131
オプションボタン	34
音楽CD	150
音楽ファイル	136,155
音質の設定 (Sound Setting)	311
音声	162,165,231,349
音声認識	51
音声認識の設定	333
音声の設定	304
音声モード	218
音量を調節する	15,21,333

カ行

カーカルテ	296
カーブ案内	65,304
ガイドライン	341,343
各アイコン	49
画質調整	352

カスタマイズ	33,35,329
カメラ	261,263,272
カメラ設定	332,340,342,344
画面の表示を消す	353
キーワード変更	79
規制情報	121
季節マーク	302
北基準	60
記念距離メモリー	248
機能制限	20
緊急サポート	250,298
緊急情報	125
緊急放送自動切換	350
黒の濃さ	352
経由地	94,102
経由地消去	104
系列局	217,223
系列局サーチ	219
県境案内	65,304
言語コード	318,367
現在地	46,50
現在地登録	111
現在地補正	309
検索履歴	89
交差点案内図	63
交差点名称読み上げ	304
後席会話サポート	273
高速道路逆走案内	66
高速道路情報	72
高速略図	60
高速略図自動表示	302
後退出庫サポート	266,268
後退駐車サポート	269
交通情報	149
後方死角サポート	267,268
合流案内	65
コーナーカメラ	261,272
コーナーカメラの設定	342
小文字/大文字	55
コントラスト	352

サ行

細街路	365
再生できるディスクの種類	133
シーク	148
市街地地図	67,365
自転車	365
自転車位置の補正	301,308
自転車基準	60
システム設定	300,332
施設名称	78
施設名称入力用キーボード	58
自宅	30,76,110
視聴制限 (DVD)	170,316
視聴設定	348,349
自動系列局サーチ	349
自動録音	314
自動ワンセグ切換	230,349
絞り込み設定	79,82
字幕	165,349
字幕情報	218
字幕設定	349
ジャイロセンサー	365
車種	305
車線キープサポート	267,268
車速センサー	365
ジャンル	30,80
住所	30,86
渋滞予測	306
渋滞予測経路	95
周辺施設	30,84
縮尺	67
縮尺アイコン	46
受信機設定	348,349
受信強度	218
手動録音	314
準天頂衛星	42,49
仕様	382
省エネ度	94
商標	7
情報確認	227,348
情報設定	319
ショートバナー常時表示	350

初期化	35,279,312,315,330,338
初期設定	348,351
シングル録音	314
数字入力	168
スクロール	48,68
スクロール方面名称	68,302
スタンダード	59
スタンダード2画面	59
ステアリングリモコン	28
ステアリングリモコンの設定	336
スマートIC	72,305,365
スマートIC回避	108
スマートフォンから探す	90
スライド	27
セキュリティコード	18
セキュリティの設定	335
センシングリルート	305,365
全地球測位システム	42,365
全ルート	96
走行軌跡	302,365
走行軌跡データ消去	302
走行中の操作制限	164,219
測位	43,365
速度超過アラーム	66,304
ソフトウェアバージョン	228

タ行

タイトル	367
タイトル情報	151,153,194
タップ	26
建物情報	71
タブボタン	27
ダブルタップ	26
探索条件	94,100,101
探索条件設定	94
探索の設定	301,305
探索方法	44
地図色	62
地図データ更新サービス	299
地図文字	62
地点メニュー	48,69
チャプター	367

駐車場情報	119,121
駐車場セレクト	297
昼夜色	302
通信設定	323
続き再生	367
ディスクスロット	16
ディスクを取り出す	25
ディスプレイ	15
デモ走行	99
電話	30
電話の設定	320
電話番号	86
電話をかける	256
電話を使う	252
到着予想時刻学習リセット	306
登録地点	30,90,111
登録地点情報	113
登録地点の設定	110
登録地点名称	302
道路縁取り	302
都市高速入口イラストマップ	64
友達マップ	92
ドライブ	217,219
ドライブレコーダー	274,346
ドライブCH	368
ドライブCHスキャン	219,225,226
ドルビーデジタル	367

ナ行

ナビ画面	46
二重音声設定	349
ノーマルバナー	217

ハ行

パーキングセンサー	270
パーキングセンサーの設定	345
パーキングブレーキアラーム	66,304
パーソナル・ホームページ	294
パスワード	18,335
パソコンからタイトル情報を取得する	197
半角/全角	55
番組内容	217,220

番組表CH切換	350
ビーコン情報	124
非測位	43
微調整	68
表示の設定	301,302
ビュー切換	59
ピンチアウト	27
ピンチイン	27
フォルダーの構成	137,144
フォルダー選択	155,171,206
物理チャンネル番号	218
踏切案内	65,304
プリセットボタン	147
フリック	26
フルセグ	229,368
プレイリスト	184,366
フロントカメラ	261,272
フロントカメラの設定	342
別ルート	107
変換	55
変換候補のリスト	56
放送モード	218,368
方面名称	68
方面名称読み上げ	304
保証	384
ホーム	217,219
ホームCH	368
ホームCHスキャン	215,224
本機	14
本機の設定	300

マ行

マップコード	88
マップマッチング	42,365
マルチアングル	367
マルチインフォメーションディスプレイ	45,293
マルチタップ	26
マルチビューカメラ	265
マルチビューカメラの設定	344
マルチ編成	368
無変換	55

メール.....	227
名称.....	30
メッセージ.....	354
メニュー.....	217
メモリ初期化.....	338
免責事項.....	5
目的地クリップ.....	296
目的地の設定.....	76
目的地メニュー.....	29,49
文字入力.....	55
文字の種類.....	56
モニター Open.....	23

ヤ行

郵便番号.....	87
用語解説.....	365
予測渋滞情報表示.....	123

ラ行

ラジオ.....	146
ランドマーク.....	61,365
リアカメラ.....	263,266,269,272
リアカメラの設定.....	340
リア席モニター.....	280
リスト表示.....	155,171,177,206,212
(リニア)PCM.....	367
リモコン番号.....	217,219,229,368
料金所案内図.....	64
履歴.....	30,89
ルート残距離情報.....	303
ルート自動更新.....	125,305
ルート消去.....	109
ルート上の合流案内.....	304
ルート探索条件.....	305
ルートの確認.....	96,97
ルートの変更.....	100
ルートメニュー.....	50
レーン案内.....	65,304
レーン情報.....	302
レターボックス画面.....	367
録音する.....	181
録音方法を変更する.....	314

ロングタップ.....	26
ロングバナー.....	218

ワ行

ワイド.....	166
ワイドソフト.....	367
ワンセグ.....	229,368
ワンセグ/フルセグ.....	217,229

A

AAC.....	140
AM.....	147
Apple CarPlay.....	37
AUDIO.....	15,131
AUDIO 再生情報.....	46,132
AUDIO メニュー.....	31,131
Audio ON/OFF.....	132
AUX.....	32,237
AV 設定.....	300,310

B

Bluetooth Audio.....	32,232
Bluetooth の設定.....	323
BTA.....	32,233

C

CarPlay.....	37
CH モード.....	217,219,368
CPRM.....	367

D

DTS Digital Surround.....	367
DVD/CD.....	32,150,155,159
DVD ビデオ.....	159
DVD ビデオの初期設定.....	315

E

EPG.....	217,221,368
ETC.....	243,244
ETC 車載器の情報.....	245

ETCの設定	321
ETCの履歴	245
ETC2.0	246,365
ETC2.0 アップリンク	322
ETC2.0 音声自動再生	322
ETC2.0 受信音	322
ETC2.0 図形情報割り込み	322
ETC2.0 の設定	322
ETC2.0 文字情報割り込み	322

F

FLAC	142
FM	147
FM 多重情報	123
FM 多重放送	117

G

GNSS	42,365
GPS	42,365
Gracenote	375

H

HDMI 出力機器	238
HDMI(Eタイプ)	238,366
Hondaからのお知らせ	289
Honda スマートパーキングアシストシステム	265

I

ID3 タグ	366
internavi ウェザー	292
internavi の設定	327
internavi ルート	107
iPod	32,202
iPod MENU	205

M

MAPCODE	30,88
MENU	15
MP3	138
MPEG	367

Music Rack	366
Music Rack を聴く	183
My コース	295

N

NaviCon	90
NAVI 設定	300,301
NoTitle リスト	195
NTSC	367

P

PLAYLIST	185,186,187
PsideP	60

Q

QUICK メニュー	34,85
QZS	42

R

RADIO	32,146
-------------	--------

S

SD/Music Rack	32,171
SD カード	22
SD カードスロット	16,23
SD カードの曲を聴く	171
SD カードの動画を見る	177
Sound Settings	311
S/Wバージョン(TV)	228

T

TITLE	161,162
TV	32,214,215
TV の設定	348
TV 放送のチャンネル一覧表	369

U

USB	32
USB デバイスの曲を聴く	206
USB デバイスの動画を見る	212

V

VICS.....	117,366
VICS アイコン	119
VICS 記号.....	121
VICS 局	127
VICS 考慮.....	108
VICS 受信局周波数設定	307
VICS 情報.....	122
VICS 情報 (一般道)	307
VICS 情報 (高速道)	307
VICS センター	122
VICS 駐車場情報.....	307
VICS の設定.....	301,307
VICS メニュー	122
VOL.....	15,21

W

WMA	139
WAV	141

数字

2次元測位.....	43
2D マップ	61
3D 建物	302
3D ビューマップ	61
3D リアルジャンクション	65,366
3 桁チャンネル番号	218
3次元測位.....	43
5 ルート	94,106